

2011年卒学生の現状《特別アンケート》 集計結果報告



2011年1月

- 調査期間： 2010年12月2日(木)～12月15日(水)
- 調査方法： 12月2日時点のマイナビ全会員にハイブリッドDM(WEB DM)で配信。
- 調査対象： 2011年に卒業予定の全国大学4年生及び大学院2年生
- 有効回答数 2,821名 [内訳:文系男子 927名 理系男子 500名 文系女子 1,158名 理系女子 236名]
- 学生の属性データ

	回答数	比率
男子	1,427	50.6%
女子	1,394	49.4%
総計	2,821	100.0%

	回答数	比率
文系	2,085	73.9%
理系	736	26.1%
総計	2,821	100.0%

	回答数	比率
文系男子	927	32.9%
理系男子	500	17.7%
文系女子	1,158	41.0%
理系女子	236	8.4%
総計	2,821	100.0%

	現住所都道府県	回答数	比率	
1.北海道	1.北海道	91	3.2%	
	2.東北	2.青森県	18	0.6%
		3.岩手県	15	0.5%
		4.宮城県	60	2.1%
		5.秋田県	11	0.4%
		6.山形県	18	0.6%
		7.福島県	20	0.7%
3.関東	8.茨城県	57	2.0%	
	9.栃木県	32	1.1%	
	10.群馬県	32	1.1%	
	11.埼玉県	208	7.4%	
	12.千葉県	139	4.9%	
	13.東京都	416	14.7%	
	14.神奈川県	249	8.8%	
4.甲信越	15.新潟県	24	0.9%	
	19.山梨県	19	0.7%	
	20.長野県	14	0.5%	
5.東海	21.岐阜県	41	1.5%	
	22.静岡県	40	1.4%	
	23.愛知県	141	5.0%	
	24.三重県	34	1.2%	
6.北陸	16.富山県	11	0.4%	
	17.石川県	14	0.5%	
	18.福井県	7	0.2%	

	現住所都道府県	回答数	比率
7.関西	25.滋賀県	49	1.7%
	26.京都府	116	4.1%
	27.大阪府	282	10.0%
	28.兵庫県	166	5.9%
	29.奈良県	50	1.8%
	30.和歌山県	16	0.6%
	8.中国・四国	31.鳥取県	6
32.島根県		9	0.3%
33.岡山県		37	1.3%
34.広島県		64	2.3%
35.山口県		21	0.7%
36.徳島県		10	0.4%
37.香川県		16	0.6%
38.愛媛県		23	0.8%
39.高知県		7	0.2%
9.九州		40.福岡県	130
	41.佐賀県	17	0.6%
	42.長崎県	24	0.9%
	43.熊本県	27	1.0%
	44.大分県	13	0.5%
	45.宮崎県	9	0.3%
	46.鹿児島県	14	0.5%
	47.沖縄県	4	0.1%
総計		2821	100.0%

全体の数値を算出するにあたり、2011年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。

基準数値は2009年12月21日公表の平成21年度学校基本調査より、大学4年生・院2年生の在籍数から男女比を参照している。文理区分については文部科学省・厚生労働省共同調査による「平成21年度大学等卒業予定者の就職内定状況調査」の分類に準拠。

※ウエイトバック集計とは

アンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせるように重み付けして集計すること。

今回の調査においてはマイナビ会員の退会率が一定数以上存在する為、正確な内定率の算出が難しいと判断して掲示していない。

■ 日本資料について ■

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。
株式会社 毎日コミュニケーションズ 就職情報事業本部 HRリサーチセンター
TEL:03(6267)4571 / E-mail:hrrc@mycom.co.jp

■1: 就職活動の開始時期と活動量について

- (1) 企業へのエントリーや企業研究などを開始したのはいつ頃からですか。
※インターンシップ参加やその為のエントリー活動は除きます。
- (2) これまでにエントリーは延べで何社行いましたか。
- (3) これまでの企業個別のセミナーや会社説明会は何社参加しましたか。
- (4) これまで何社の面接を受けましたか。

■2: 内定状況とその後の進路について

- (1) (内定保有者限定) 内定先への満足度はどの程度ですか。
- (2) (内定保有者で活動継続中の学生限定) 現在の状況をお選び下さい。
- (3) (未内定者限定) 今後の選択肢として考えられるものをお選び下さい。
- (4) 進路決定をするタイミングはいつ頃ですか。

■3: 就職活動関連のニュースについて

- (1) 国の支援の一環として「卒業後3年間は新卒扱いするよう企業に要請」というニュースを知っていますか。
- (2) 「卒業後3年間は新卒扱いするよう企業に要請」という記事を読んだ感想として近いものはどれですか。
- (3) 「卒業後3年間は新卒扱いするよう企業に要請」という記事を読んで、感想がありましたらご記入ください。
- (4) 卒業後3年は新卒扱いという前提で、卒業後再度就職活動を行うとしたら、これまでの志望に変化が生じますか。
- (5) 卒業後3年は新卒扱いの議論にある「3年」という期間についてはどう思いますか。
- (6) 10/1時点の内定率が57.6%と過去15年間で最低だったというニュースを知っていますか。
- (7) そのこと(上記設問あるいは就職難であること)についてどう思いますか？感想がありましたらご記入ください。

■4: 就職課やキャリアセンターの利用状況について

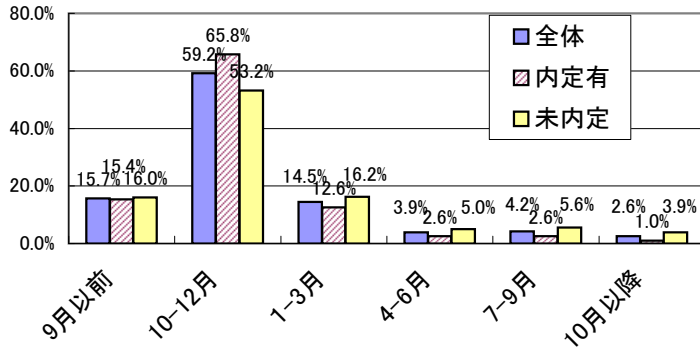
- (1) これまで学校の就職課やキャリアセンターを自主的に利用したことがありますか。
※利用とは各種相談やES添削、求人票の閲覧、就職システム活用のことを指します。
- (2) ここ数ヶ月では学校の就職課やキャリアセンターをどの様に活用していますか。
- (3) 卒業後も就職課やキャリアセンターが就職の相談にのってくれる学校があることを知っていましたか。
- (4) 卒業後も就職活動を余儀なくされた場合、就職課やキャリアセンターからのサポートを受けたいと思いますか。
- (5) 就職課やキャリアセンターの満足度をつけるとしたら、どの様な点数をつけますか。
- (6) 現時点で就職活動について相談する相手は誰が多いですか。

■5: 就職活動の感想について

- (1) 就職活動を通じて一番感じている感想はなんですか。

TOPICS

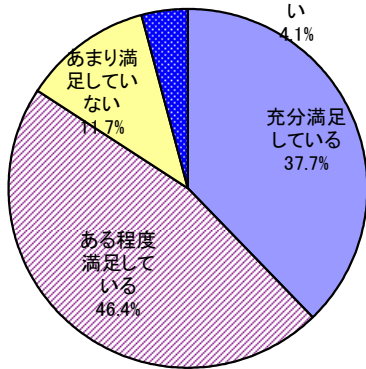
◆就職活動の開始時期は内定保有者の方がやや早めに活動をスタート。



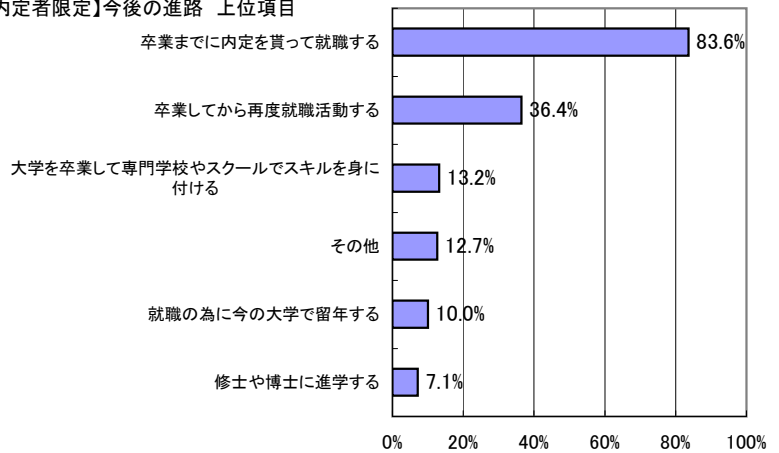
就職活動の開始時期は「年内に活動を開始した学生」の合計が74.9%と、4人中3人にのぼる。内定保有者は81.2%、未内定では69.2%と早めに準備をしていた方が良い結果を出している。エントリーについては「100社以上」という回答が25.7%と最も多く、文系を中心にエントリーを積み重ねていることがわかる。この「100社以上」の回答率を内定の有無で比較してみると、内定保有者のほうが28.1%と、未内定者の23.5%を上回っている。(※6P参照)

◆内定者に関しては一定の満足感。未内定者は内定を求めて3月まで。

【内定者限定】内定先への満足度



【未内定者限定】今後の進路 上位項目



内定者の内定先に対する満足度は「充分満足している」と「ある程度満足している」をあわせて84.1%と、5人中4人にのぼっている。内定を貰っても活動を継続している学生の内、内定を辞退してまで継続している割合は17.0%と少ない。(※3P参照)

未内定者の今後考えられる進路を複数回答で聞いたところ、83.6%の学生は「卒業までに内定を貰って就職する」と回答しており、諦めずに努力する意思が感じられる。続いて「卒業してから再度就職活動する」という回答が36.4%となっており、昨年話題となった「就職の為に今の大学で留年する」という回答は10.0%に留まっている。

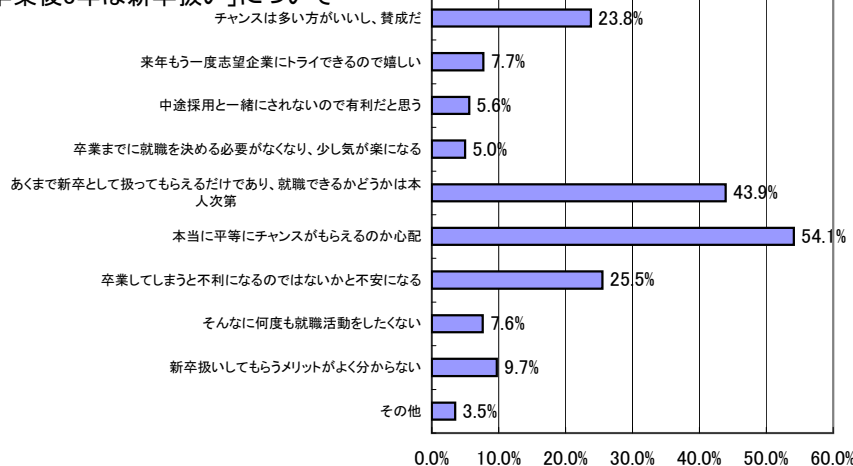
◆「卒業後3年は新卒扱い」の認知は高いものの、慎重な見方。

91.9%の学生が「卒業後3年間は新卒扱い」を政府が要請していることを認識している結果となった。(※4P参照)

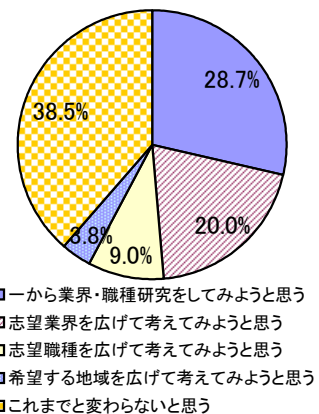
感想を聞いてみると「本当に平等にチャンスがもらえるのか心配」54.1%や「あくまで新卒として扱ってもらえるだけであり、就職できるかどうかは本人次第」43.9%のように、比較的事態を慎重に受けとめていることが分かる。

気になるのが未内定者の卒業後に就職活動を行う場合の志望の変化の割合で「これまでと変わらない」が38.5%と、4割程度の学生は再度同じような活動を繰り返す可能性が高いという結果がでている。

「卒業後3年は新卒扱い」について

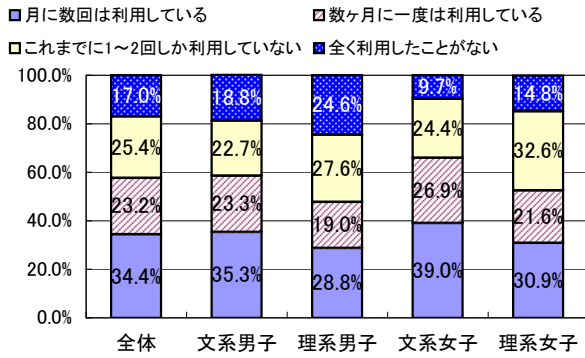


【未内定者】卒業後就職活動を行うとしたらこれまでの志望に変化が起きるか

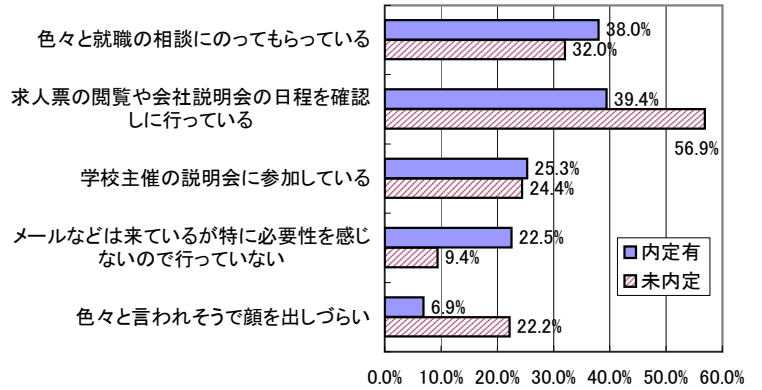


◆就職課やキャリアセンターは文系中心に活用が多く、満足度も高い。

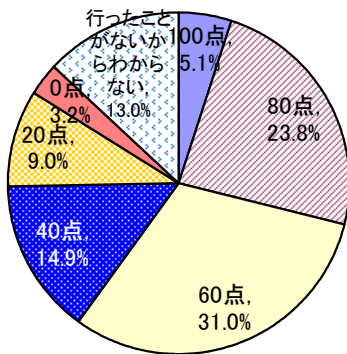
就職課やキャリアセンターを自主的に利用した割合



ここ数ヶ月の就職課やキャリアセンターの活用方法



就職課への評点

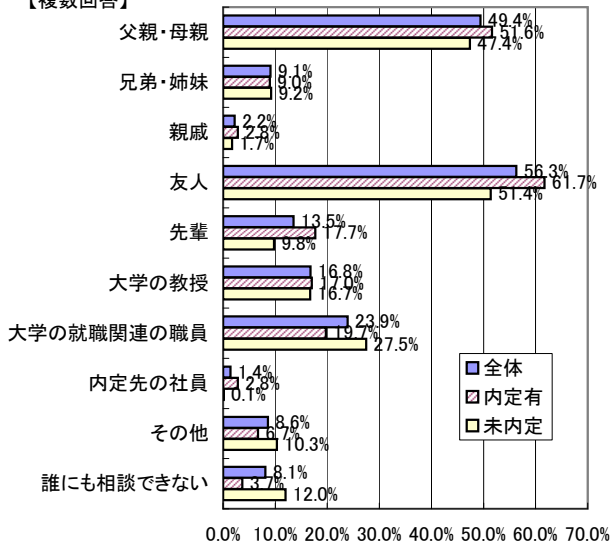


「就職課やキャリアセンターを自主的に利用した割合」は文系女子を中心に「月に数回は利用している」と「数ヶ月に一度は利用している」と回答した合計が5割を越えている。ここ数ヶ月の活用方法を見ると、内定者が「色々就職の相談にのってもらっている」が38.0%や、「求人票の閲覧や会社説明会の日程を確認しに行っている」の39.4%などが高いのに対し、未内定者では「求人票の閲覧や会社説明会の日程を確認しに行っている」が56.9%と、かなり高くなっている。また同じ未内定者において、「色々と言われそうで顔を出しづらい」が22.2%と足が遠のく傾向も見られる。

就職課やキャリアセンターへの満足度は内定者を中心に、60点以上が59.9%と総じて高い数字となっている。

◆相談相手は「友人」の次に「両親」。未内定者は大学職員も頼りに。

現時点で就職活動について相談する相手
【複数回答】



現在の相談相手としては「友人」が56.3%と最も多い。次いで多いのが「父親・母親」で49.4%となっている。

学生の自由記入によるコメントの中には、両親に申し訳ないという想いと、そこから受けるプレッシャーに押しつぶされそうになっている姿が記載されているものもあった。

また、未内定者においては「大学の就職関連の職員」が27.5%と高くなっており、この時期の良き相談相手として機能していることが推測される結果となっている。

同時に、同じ未内定者の区分で「誰にも相談できない」が12.0%となっており、孤立化した学生も少なからず存在することを示唆した回答になっている。

■1:就職活動の開始時期と活動量について

(1)企業へのエントリーや企業研究などを開始したのはいつ頃からですか。

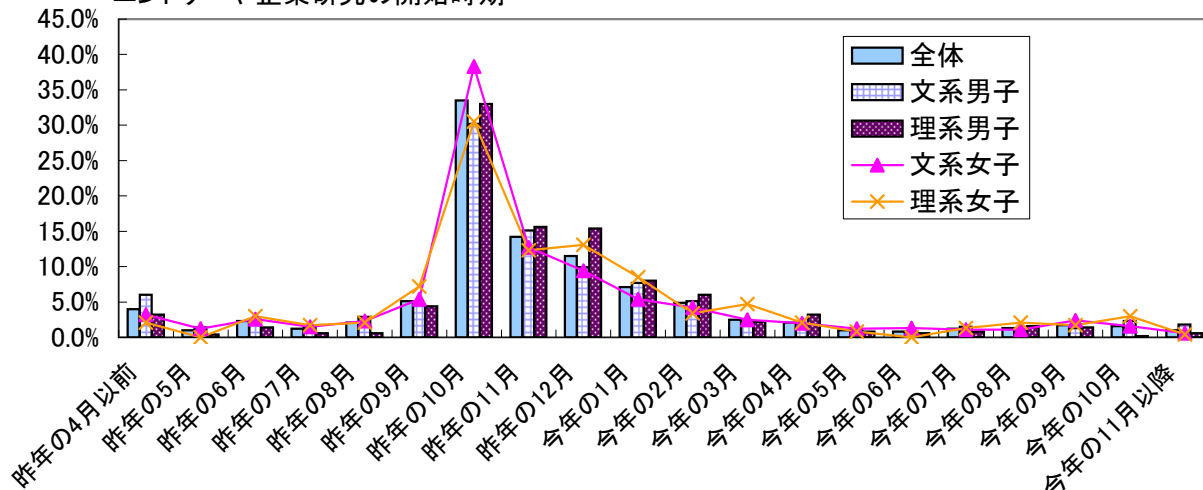
単一回答 (SA)

複数回答 (MA)

※インターンシップ参加やその為のエントリー活動は除きます。

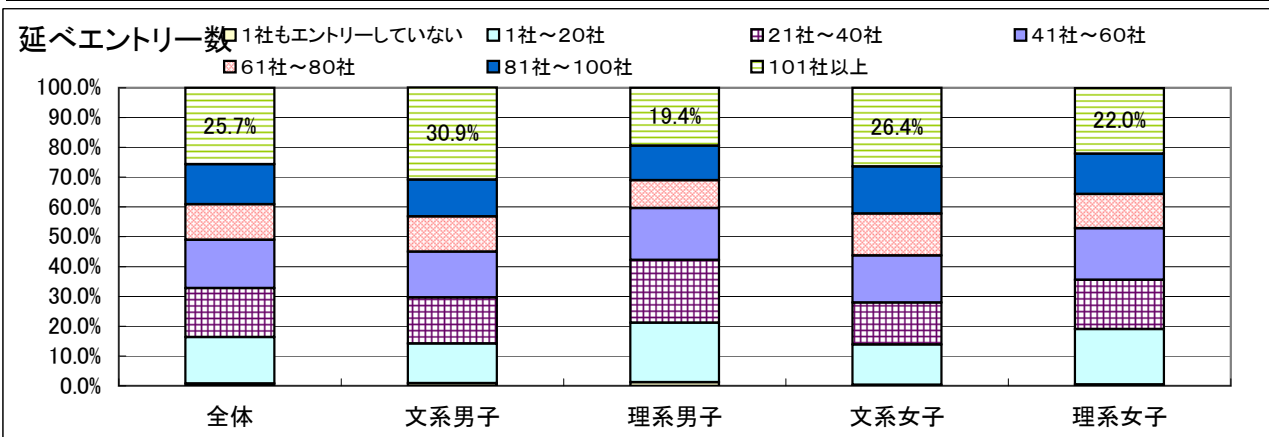
(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
昨年の4月以前	4.0%	6.0%	3.2%	3.2%	2.1%
昨年の5月	1.0%	1.4%	0.4%	1.2%	0.0%
昨年の6月	2.3%	2.5%	1.4%	2.6%	3.0%
昨年の7月	1.2%	1.4%	0.6%	1.5%	1.7%
昨年の8月	2.1%	2.9%	0.6%	2.3%	2.1%
昨年の9月	5.1%	4.6%	4.4%	5.4%	7.2%
昨年の10月	33.5%	30.2%	33.0%	38.3%	30.5%
昨年の11月	14.2%	15.1%	15.6%	12.7%	12.3%
昨年の12月	11.5%	9.9%	15.4%	9.4%	13.1%
今年の1月	7.1%	7.7%	8.0%	5.4%	8.5%
今年の2月	4.9%	5.1%	6.0%	4.2%	3.4%
今年の3月	2.5%	2.2%	2.2%	2.5%	4.7%
今年の4月	2.1%	1.3%	3.2%	2.0%	2.1%
今年の5月	1.0%	1.0%	0.8%	1.2%	0.8%
今年の6月	0.8%	0.8%	0.6%	1.3%	0.0%
今年の7月	1.2%	1.5%	0.8%	1.1%	1.3%
今年の8月	1.3%	1.1%	1.6%	1.1%	2.1%
今年の9月	1.7%	1.3%	1.4%	2.4%	1.7%
今年の10月	1.6%	2.3%	0.2%	1.6%	3.0%
今年の11月以降	1.0%	1.8%	0.6%	0.6%	0.4%

エントリーや企業研究の開始時期



(2)これまでにエントリーは延べて何社行いましたか。

(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
1社もエントリーしていない	0.7%	0.9%	1.2%	0.3%	0.4%
1社~20社	15.6%	13.3%	20.0%	13.6%	18.6%
21社~40社	16.5%	15.4%	21.0%	14.0%	16.5%
41社~60社	16.2%	15.4%	17.4%	15.8%	17.4%
61社~80社	11.9%	11.8%	9.4%	14.1%	11.4%
81社~100社	13.4%	12.4%	11.6%	15.8%	13.6%
101社以上	25.7%	30.9%	19.4%	26.4%	22.0%

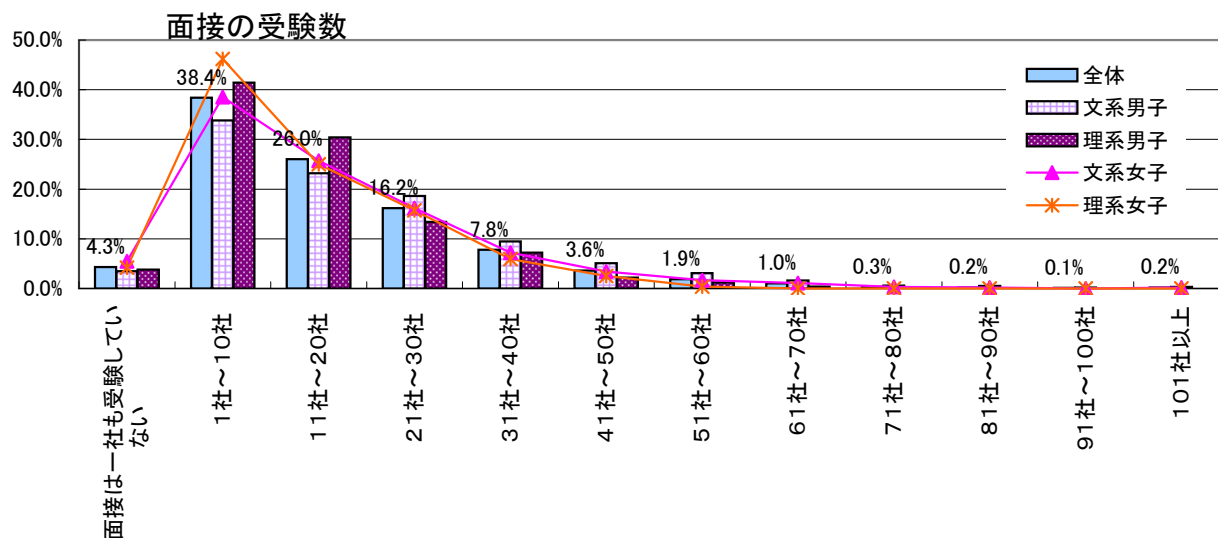
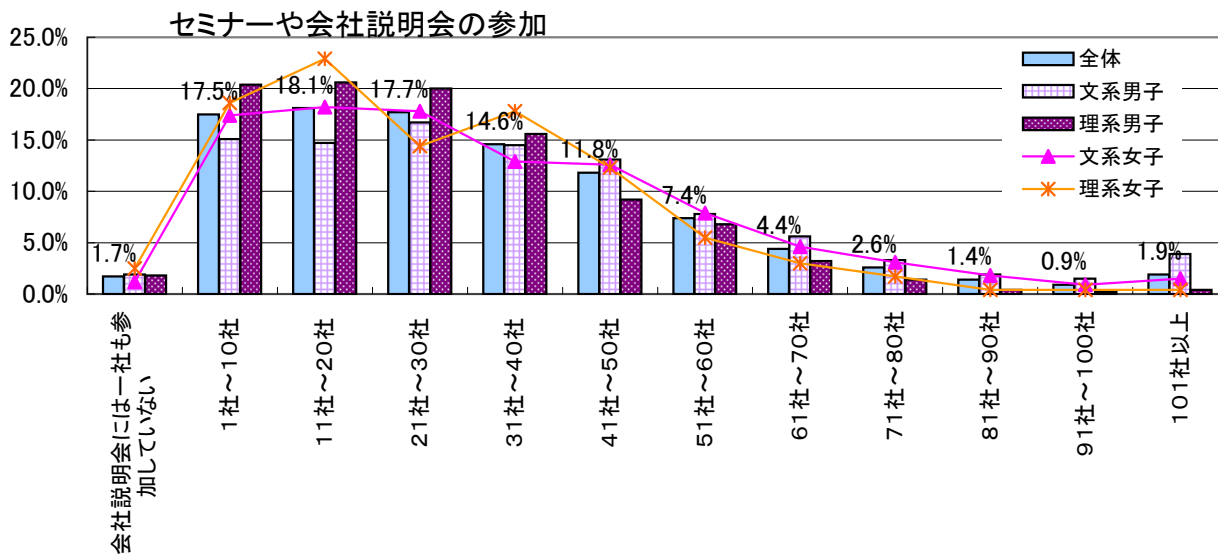


(3)これまでの企業個別のセミナーや会社説明会は何社参加しましたか。

(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
会社説明会には一社も参加していない	1.7%	1.9%	1.8%	1.2%	2.5%
1社～10社	17.5%	15.1%	20.4%	17.4%	18.6%
11社～20社	18.1%	14.7%	20.6%	18.2%	22.9%
21社～30社	17.7%	16.7%	20.0%	17.8%	14.4%
31社～40社	14.6%	14.5%	15.6%	12.9%	17.8%
41社～50社	11.8%	13.1%	9.2%	12.6%	12.3%
51社～60社	7.4%	7.8%	6.8%	7.9%	5.5%
61社～70社	4.4%	5.6%	3.2%	4.6%	3.0%
71社～80社	2.6%	3.3%	1.4%	3.1%	1.7%
81社～90社	1.4%	1.9%	0.4%	1.8%	0.4%
91社～100社	0.9%	1.5%	0.2%	0.9%	0.4%
101社以上	1.9%	3.9%	0.4%	1.5%	0.4%

(4)これまで何社の面接を受けましたか。

(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
面接は一社も受験していない	4.3%	3.5%	3.8%	5.5%	4.2%
1社～10社	38.4%	33.8%	41.4%	38.5%	46.2%
11社～20社	26.0%	23.2%	30.4%	25.7%	25.0%
21社～30社	16.2%	18.6%	13.4%	16.2%	15.7%
31社～40社	7.8%	9.5%	7.2%	7.2%	5.9%
41社～50社	3.6%	5.1%	2.2%	3.4%	2.5%
51社～60社	1.9%	3.1%	1.2%	1.7%	0.4%
61社～70社	1.0%	1.6%	0.4%	1.1%	0.0%
71社～80社	0.3%	0.6%	0.0%	0.3%	0.0%
81社～90社	0.2%	0.5%	0.0%	0.2%	0.0%
91社～100社	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
101社以上	0.2%	0.3%	0.0%	0.2%	0.0%



■2:内定状況とその後の進路について

(1) (内定保有者限定)内定先への満足度はどの程度ですか。

(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	1,315	441	415	341	118
充分満足している	37.7%	35.2%	44.7%	32.3%	38.1%
ある程度満足している	46.4%	47.1%	44.7%	47.2%	47.6%
あまり満足していない	11.7%	12.8%	7.0%	15.8%	12.4%
全く満足していない	4.1%	4.8%	3.5%	4.7%	1.9%

(2) (内定保有者で活動継続中の学生限定)現在の状況をお選び下さい。

(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	264	104	47	93	20
内定を保持したまま、新たな企業を探して活動中	65.2%	62.1%	56.3%	70.2%	77.8%
内定を保持したまま、他の進路を選択もしくは検討中	17.9%	18.4%	34.4%	11.6%	5.6%
内定を辞退して新たな企業を探して活動中	14.9%	15.5%	9.4%	16.5%	16.7%
内定を辞退して他の進路を選択もしくは検討中	2.1%	3.9%	0.0%	1.7%	0.0%

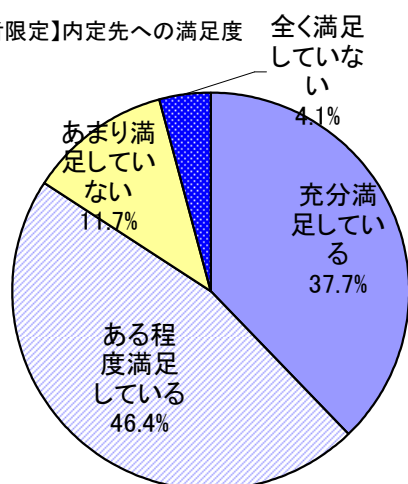
(3) (未内定者限定)今後の選択肢として考えられるものをお選び下さい。

(MA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	1,457	481	299	533	143
卒業までに内定を貰って就職する	83.6%	81.1%	79.5%	87.3%	86.7%
修士や博士に進学する	7.1%	4.4%	13.2%	4.8%	12.5%
就職の為に今の大学で留年する	10.0%	13.4%	17.1%	4.2%	5.5%
卒業してから再度就職活動する	36.4%	31.3%	39.0%	40.3%	32.8%
大学に籍を置きながら海外の大学に留学する	0.7%	1.1%	0.5%	0.3%	1.6%
卒業して海外の大学に留学する	1.8%	1.3%	2.4%	1.9%	1.6%
大学に籍を置きながら専門学校やスクールでスキルを身に付ける	2.0%	2.5%	2.4%	1.3%	2.3%
大学を卒業して専門学校やスクールでスキルを身に付ける	13.2%	12.4%	10.7%	15.9%	10.9%
その他	12.7%	12.0%	12.2%	13.3%	14.1%

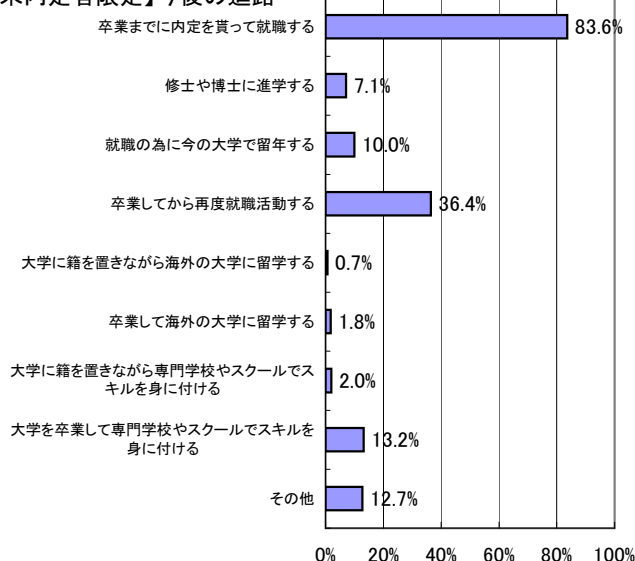
(4) 進路決定をするタイミングはいつ頃ですか。

(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
すでに決めている	40.7%	38.3%	56.0%	31.0%	39.4%
12月末まで	8.8%	9.9%	7.6%	7.6%	11.9%
1月末まで	9.7%	12.0%	8.0%	8.8%	8.9%
2月末まで	12.2%	12.8%	10.4%	13.6%	10.2%
3月末まで	28.7%	27.0%	18.0%	38.9%	29.7%

【内定者限定】内定先への満足度



【未内定者限定】今後の進路



■3:就職活動関連のニュースについて

(1) 国の支援の一環として「卒業後3年間は新卒扱いするよう企業に要請」というニュースを知っていますか。

(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
知っている	91.9%	93.3%	92.0%	90.6%	91.1%
知らなかった	8.1%	6.7%	8.0%	9.4%	8.9%

(2) 「卒業後3年間は新卒扱いするよう企業に要請」という記事を読んだ感想として近いものはどれですか。

※(前問で「知っている」と回答した方限定)

(MA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,580	869	666	805	241
チャンスは多い方がいいし、賛成だ	23.8%	21.6%	23.9%	27.1%	20.5%
本当に平等にチャンスがもらえるのか心配	54.1%	49.8%	51.3%	59.0%	61.4%
来年もう一度志望企業にトライできるので嬉しい	7.7%	7.1%	6.1%	10.1%	6.0%
卒業までに就職を決める必要がなくなり、少し気が楽になる	5.0%	3.1%	5.0%	7.4%	4.2%
卒業してしまうと不利になるのではないかと不安になる	25.5%	23.4%	22.4%	30.0%	27.0%
そんなに何度も就職活動をしたくない	7.6%	7.1%	7.7%	8.6%	6.0%
あくまで新卒として扱ってもらえるだけであり、就職できるかどうかは本人次第	43.9%	42.9%	44.3%	42.9%	49.8%
中途採用と一緒にされないのでも有利だと思う	5.6%	5.9%	5.0%	5.6%	6.0%
新卒扱いしてもらってメリットがよく分からない	9.7%	10.5%	9.6%	9.4%	8.4%
その他	3.5%	3.4%	6.1%	1.7%	2.8%

(3) 「卒業後3年間は新卒扱いするよう企業に要請」という記事を読んで、感想がありましたらご記入ください。

別紙参照

(4) 卒業後3年は新卒扱いという前提で、卒業後再度就職活動を行うとしたら、これまでの志望に変化が生じますか。

(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
一から業界・職種研究をしてみようと思う	25.0%	26.1%	27.2%	23.7%	19.9%
志望業界を広げて考えてみようと思う	19.1%	22.8%	14.0%	19.8%	17.8%
志望職種を広げて考えてみようと思う	7.1%	5.1%	7.8%	7.8%	10.6%
希望する地域を広げて考えてみようと思う	3.1%	3.2%	3.2%	3.5%	1.3%
これまでと変わらないと思う	45.6%	42.8%	47.8%	45.3%	50.4%

(5) 卒業後3年は新卒扱いの議論にある「3年」という期間についてはどう思いますか。

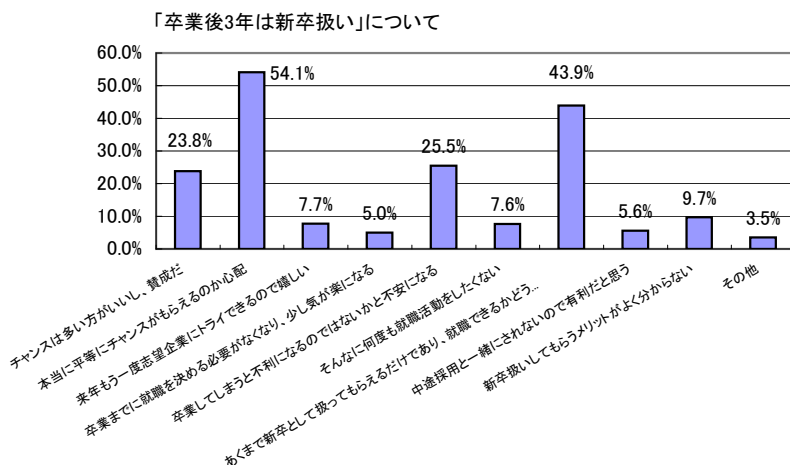
(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
3年以上の方が良い	10.2%	13.8%	9.8%	7.8%	7.2%
3年が良い	37.2%	33.4%	32.2%	44.5%	39.8%
2年で十分	10.8%	10.1%	10.6%	11.6%	11.0%
1年で十分	14.6%	14.5%	16.6%	12.2%	17.4%
そもそも考えていない	27.2%	28.2%	30.8%	24.0%	24.6%

(6) 10/1時点の内定率が57.6%と過去15年間で最低だったというニュースを知っていますか。

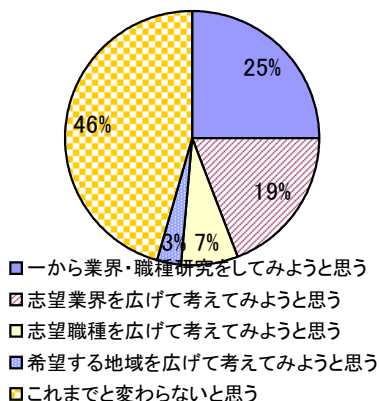
(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
知っている	96.3%	97.0%	95.2%	96.7%	95.8%
知らなかった	3.7%	3.0%	4.8%	3.3%	4.2%

(7) そのこと(上記設問あるいは就職難であること)についてどう思いますか？感想がありましたらご記入ください。

別紙参照



卒業後就職活動を行うとしたらこれまでの志望に変化が起きるか



■4:就職課やキャリアセンターの利用状況について

(1)これまで学校の就職課やキャリアセンターを自主的に利用したことがありますか。

(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
月に数回は利用している	34.4%	35.3%	28.8%	39.0%	30.9%
数ヶ月に一度は利用している	23.2%	23.3%	19.0%	26.9%	21.6%
これまでに1~2回しか利用していない	25.4%	22.7%	27.6%	24.4%	32.6%
全く利用したことがない	17.0%	18.8%	24.6%	9.7%	14.8%

(2)ここ数ヶ月では学校の就職課やキャリアセンターをどの様に活用していますか。

(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
色々と就職の相談にのってもらっている	34.5%	37.4%	34.1%	32.7%	31.9%
求人票の閲覧や会社説明会の日程を確認しに行っている	49.6%	46.3%	45.1%	54.0%	56.0%
学校主催の説明会に参加している	24.8%	29.4%	30.3%	17.6%	22.3%
メールなどは来ているが特に必要性を感じないので行っていない	14.9%	14.3%	14.8%	14.9%	16.9%
色々と言われそうで顔を出しづらい	15.8%	13.5%	12.6%	19.5%	18.1%

(3)卒業後も就職課やキャリアセンターが就職の相談にのってくれる学校があることを知っていましたか。

(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
知っていた	47.4%	52.6%	43.0%	47.2%	41.5%
知らなかった	52.6%	47.4%	57.0%	52.8%	58.5%

(4)卒業後も就職活動を余儀なくされた場合、就職課やキャリアセンターからのサポートを受けたいと思いますか。

(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
是非受けたい	47.7%	48.7%	47.6%	46.8%	47.5%
こちらが必要な時にだけサポートを受けたい	40.5%	39.7%	41.0%	40.8%	41.5%
卒業後まで大学のサポートを受ける気はない	6.1%	6.5%	7.8%	5.1%	3.4%
ハローワークやジョブカフェなど、公共の支援を利用するのでサポートはいらない	5.7%	5.2%	3.6%	7.3%	7.6%

(5)就職課やキャリアセンターの満足度をつけるとしたら、どの様な点数をつけますか。

(SA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
100点	5.1%	5.0%	5.6%	4.9%	4.7%
80点	23.8%	25.0%	24.2%	22.6%	22.0%
60点	31.0%	30.1%	28.4%	35.0%	28.4%
40点	14.9%	12.8%	12.2%	17.8%	20.3%
20点	9.0%	10.2%	7.0%	9.2%	8.9%
0点	3.2%	3.6%	3.2%	2.9%	3.0%
行ったことがないからわからない	13.0%	13.3%	19.4%	7.5%	12.7%

(6)現時点で就職活動について相談する相手は誰が多いですか。

※利用とは各種相談やES添削、求人票の閲覧、就職システム活用を指します。

(MA)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
回答数	2,821	936	730	891	264
父親・母親	49.4%	49.7%	47.0%	50.8%	50.0%
兄弟・姉妹	9.1%	7.6%	6.8%	12.9%	8.1%
親戚	2.2%	2.7%	2.8%	1.8%	0.4%
友人	56.3%	55.9%	54.4%	59.1%	53.4%
先輩	13.5%	12.5%	18.0%	10.7%	14.0%
大学の教授	16.8%	16.8%	24.2%	11.0%	16.1%
大学の就職関連の職員	23.9%	25.8%	20.8%	26.2%	17.8%
内定先の社員	1.4%	1.1%	1.8%	1.1%	2.5%
その他	8.6%	8.1%	8.2%	10.0%	6.8%
誰にも相談できない	8.1%	7.1%	6.8%	9.1%	12.3%

■5:就職活動の感想について

(1)就職活動を通じて一番感じている感想はなんですか。

別紙参照

※今回、内定率は以下の理由により発表しておりません。

①マイナビにおいて内定を貰って退会手続きを取る学生が多数存在する為。

■1:就職活動の開始時期と活動量について

(1)企業へのエントリーや企業研究などを開始したのはいつ頃からですか。

単一回答
複数回答

(SA)
(MA)

※インターンシップ参加やその為のエントリー活動は除きます。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
昨年の4月以前	4.0%	2.9%	5.1%
昨年の5月	1.0%	0.8%	1.1%
昨年の6月	2.3%	2.2%	2.4%
昨年の7月	1.2%	1.5%	1.0%
昨年の8月	2.1%	2.3%	1.8%
昨年の9月	5.1%	5.7%	4.6%
昨年の10月	33.5%	38.8%	28.8%
昨年の11月	14.2%	15.6%	12.9%
昨年の12月	11.5%	11.4%	11.5%
今年の1月	7.1%	6.6%	7.6%
今年の2月	4.9%	4.4%	5.3%
今年の3月	2.5%	1.6%	3.3%
今年の4月	2.1%	1.3%	2.7%
今年の5月	1.0%	0.9%	1.1%
今年の6月	0.8%	0.4%	1.2%
今年の7月	1.2%	0.6%	1.7%
今年の8月	1.3%	1.2%	1.4%
今年の9月	1.7%	0.8%	2.5%
今年の10月	1.6%	0.9%	2.1%
今年の11月以降	1.0%	0.1%	1.8%

(2)これまでにエントリーは延べで何社行いましたか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
1社もエントリーしていない	0.7%	0.4%	1.1%
1社～20社	15.6%	12.1%	18.7%
21社～40社	16.5%	17.5%	15.6%
41社～60社	16.2%	16.5%	16.0%
61社～80社	11.9%	11.4%	12.3%
81社～100社	13.4%	14.0%	12.8%
101社以上	25.7%	28.1%	23.5%

(3)これまでの企業個別のセミナーや会社説明会は何社参加しましたか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
会社説明会には一社も参加していない	1.7%	0.6%	2.7%
1社～10社	17.5%	15.0%	19.8%
11社～20社	18.1%	18.6%	17.7%
21社～30社	17.7%	19.7%	15.9%
31社～40社	14.6%	15.4%	13.8%
41社～50社	11.8%	12.5%	11.2%
51社～60社	7.4%	7.4%	7.3%
61社～70社	4.4%	4.2%	4.6%
71社～80社	2.6%	2.8%	2.5%
81社～90社	1.4%	1.3%	1.4%
91社～100社	0.9%	1.1%	0.7%
101社以上	1.9%	1.4%	2.4%

(4)これまで何社の面接を受けましたか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
面接は一社も受験していない	4.3%	0.2%	7.9%
1社～10社	38.4%	33.9%	42.4%
11社～20社	26.0%	30.3%	22.3%
21社～30社	16.2%	18.4%	14.3%
31社～40社	7.8%	9.2%	6.6%
41社～50社	3.6%	3.8%	3.4%
51社～60社	1.9%	2.4%	1.5%
61社～70社	1.0%	1.2%	0.8%
71社～80社	0.3%	0.4%	0.2%
81社～90社	0.2%	0.2%	0.3%
91社～100社	0.1%	0.0%	0.1%
101社以上	0.2%	0.1%	0.3%

■2:内定状況とその後の進路について

(1) (内定保有者限定)内定先への満足度はどの程度ですか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	1,315	1,315	
充分満足している	37.7%	37.7%	-
ある程度満足している	46.4%	46.4%	-
あまり満足していない	11.7%	11.7%	-
全く満足していない	4.1%	4.1%	-

(2) (内定保有者で活動継続中の学生限定)現在の状況をお選び下さい。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	264	264	
内定を保持したまま、新たな企業を探して活動中	65.2%	65.2%	-
内定を保持したまま、新たな企業を探して活動中	17.9%	17.9%	-
内定を保持したまま、他の進路を選択もしくは検討中	14.9%	14.9%	-
内定を辞退して新たな企業を探して活動中	2.1%	2.1%	-

内定を辞退して他の進路を選択もしくは検討中

(3) (未内定者限定)今後の選択肢として考えられるものをお選び下さい。

(MA)	全体	内定有	未内定
回答数	1,457		1,457
卒業までに内定を貰って就職する	83.6%	-	83.6%
修士や博士に進学する	7.1%	-	7.1%
就職の為に今の大学で留年する	10.0%	-	10.0%
卒業してから再度就職活動する	36.4%	-	36.4%
大学に籍を置きながら海外の大学に留学する	0.7%	-	0.7%
卒業して海外の大学に留学する	1.8%	-	1.8%
大学に籍を置きながら専門学校やスクールでスキルを身に付ける	2.0%	-	2.0%
大学を卒業して専門学校やスクールでスキルを身に付ける	13.2%	-	13.2%
その他	12.7%	-	12.7%

(4) 進路決定をするタイミングはいつ頃ですか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
すでに決めている	40.7%	76.3%	9.0%
12月末まで	8.8%	8.5%	9.0%
1月末まで	9.7%	4.4%	14.3%
2月末まで	12.2%	4.5%	19.1%
3月末まで	28.7%	6.3%	48.6%

■3:就職活動関連のニュースについて

(1) 国の支援の一環として「卒業後3年間は新卒扱いするよう企業に要請」というニュースを知っていますか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
知っている	91.9%	93.7%	90.3%
知らなかった	8.1%	6.3%	9.7%

(2) 「卒業後3年間は新卒扱いするよう企業に要請」という記事を読んだの感想として近いものはどれですか。

※(前問で「1知っている」と回答した方限定)

(MA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
チャンスは多い方がいいし、賛成だ	23.8%	19.5%	27.8%
本当に平等にチャンスがもらえるのか心配	54.1%	49.1%	58.8%
来年もう一度志望企業にトライできるので嬉しい	7.7%	4.2%	11.0%
卒業までに就職を決める必要がなくなり、少し気が楽になる	5.0%	4.7%	5.4%
卒業してしまうと不利になるのではないかと不安になる	25.5%	18.7%	31.8%
そんなに何度も就職活動をしたくない	7.6%	6.4%	8.7%
あくまで新卒として扱ってもらえるだけであり、就職できるかどうかは本人次第	43.9%	46.9%	41.1%
中途採用と一緒にされないのが有利だと思う	5.6%	5.2%	6.1%
新卒扱いしてもらってメリットがよく分からない	9.7%	9.6%	9.8%
その他	3.5%	3.7%	3.4%

(3) 「卒業後3年間は新卒扱いするよう企業に要請」という記事を読んで、感想がありましたらご記入ください。

別紙参照

(4) 卒業後3年は新卒扱いという前提で、卒業後再度就職活動を行うとしたら、これまでの志望に変化が生じますか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
一から業界・職種研究をしてみようと思う	25.0%	20.9%	28.7%
志望業界を広げて考えてみようと思う	19.1%	18.1%	20.0%
志望職種を広げて考えてみようと思う	7.1%	5.1%	9.0%
希望する地域を広げて考えてみようと思う	3.1%	2.3%	3.8%
これまでと変わらないと思う	45.6%	53.6%	38.5%

(5) 卒業後3年は新卒扱いの議論にある「3年」という期間についてはどう思いますか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
3年以上の方が良い	10.2%	6.5%	13.6%
3年が良い	37.2%	31.5%	42.3%
2年で十分	10.8%	13.1%	8.8%
1年で十分	14.6%	19.6%	10.1%
そもそも考えていない	27.2%	29.4%	25.3%

(6) 10/1時点の内定率が57.6%と過去15年間で最低だったというニュースを知っていますか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
知っている	96.3%	96.9%	95.8%
知らなかった	3.7%	3.1%	4.2%

(7) そのこと(上記設問あるいは就職難であること)についてどう思いますか?感想がありましたらご記入ください。

別紙参照

■4:就職課やキャリアセンターの利用状況について

(1)これまで学校の就職課やキャリアセンターを自主的に利用したことがありますか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
月に数回は利用している	34.4%	32.2%	36.3%
数ヶ月に一度は利用している	23.2%	20.8%	25.3%
これまでに1~2回しか利用していない	25.4%	25.9%	25.0%
全く利用したことがない	17.0%	21.1%	13.4%

(2)ここ数ヶ月では学校の就職課やキャリアセンターをどの様に活用していますか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
色々と就職の相談にのってもらっている	34.5%	38.0%	32.0%
求人票の閲覧や会社説明会の日程を確認しに行っている	49.6%	39.4%	56.9%
学校主催の説明会に参加している	24.8%	25.3%	24.4%
メールなどは来ているが特に必要性を感じないので行っていない	14.9%	22.5%	9.4%
色々と言われそうで顔を出しづらい	15.8%	6.9%	22.2%

(3)卒業後も就職課やキャリアセンターが就職の相談にのってくれる学校があることを知っていましたか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
知っていた	47.4%	49.9%	45.2%
知らなかった	52.6%	50.1%	54.8%

(4)卒業後も就職活動を余儀なくされた場合、就職課やキャリアセンターからのサポートを受けたいと思いますか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
是非受けたい	47.7%	46.3%	48.9%
こちらが必要な時にだけサポートを受けたい	40.5%	43.5%	37.9%
卒業後まで大学のサポートを受ける気はない	6.1%	6.2%	6.0%
ハローワークやジョブカフェなど、公共の支援を利用するのでサポートはいらない。	5.7%	4.0%	7.2%

(5)就職課やキャリアセンターの満足度をつけるとしたら、どの様な点数をつけますか。

(SA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
100点	5.1%	6.5%	3.8%
80点	23.8%	27.3%	20.6%
60点	31.0%	27.6%	34.1%
40点	14.9%	13.1%	16.6%
20点	9.0%	7.3%	10.5%
0点	3.2%	2.6%	3.8%
行ったことがないからわからない	13.0%	15.7%	10.6%

(6)現時点で就職活動について相談する相手は誰が多いですか。

※利用とは各種相談やES添削、求人票の閲覧、就職システム活用のことを指します。

(MA)	全体	内定有	未内定
回答数	2,821	1,329	1,492
父親・母親	49.4%	51.6%	47.4%
兄弟・姉妹	9.1%	9.0%	9.2%
親戚	2.2%	2.8%	1.7%
友人	56.3%	61.7%	51.4%
先輩	13.5%	17.7%	9.8%
大学の教授	16.8%	17.0%	16.7%
大学の就職関連の職員	23.9%	19.7%	27.5%
内定先の社員	1.4%	2.8%	0.1%
その他	8.6%	6.7%	10.3%
誰にも相談できない	8.1%	3.7%	12.0%

■5:就職活動の感想について

(1)就職活動を通じて一番感じている感想はなんですか。

別紙参照

属性	「卒業後3年間は新卒扱いするよう企業に要請」という記事を読んで、感想がありましたらご記入ください。(一部抜粋)
九州:文系女子(未内定)	病気で就職活動ができず、卒業できたら今後の進路を考えようと思っていました。新卒でしか採用されない職種を志望しているのが嬉しく思いました。
九州:理系男子(内定有)	留学、アルバイトなど就職活動以外の選択肢の幅が増えるのでいいと思う。人生の多様化と人材流動化はセットで進めてほしい。
関東:理系男子(内定有)	すごいと思います。私は理系の修士なので、はっきり言って就職活動に時間をとられている暇はありませんでした。一部の大学は、就活予備校化していて、内定者の仲間から話を聞くための高い学費払い進学しているのだらうと疑問すら感じました。わたしは、「卒業後3年間は～」というより、卒業してからみんな一斉に就職活動を始めるという考えの方が納得できます。
中国・四国:文系男子(内定有)	友達のなかにも新卒扱いになりたいがために、わざわざ留年して払わなくてもよい学費を払っている現状があるので、この就職難が落ち着くまでの特別措置でも「卒業後3年間の新卒扱い」は非常にありがたいことだと思う。
関西:文系女子(未内定)	私のように、留学によって就職活動をスタートするのが遅くなってしまった人や資格試験にチャレンジしたが進路変更をした人が、就活に“出遅れ”でも、チャンスが増えるのでよいと思います。しかし、制度が整うのがいつになるのか気になりますし、実際には「大学卒業後何をしていたのか」ということが問われ、大学3,4回生に比べると不利な状況になると予想しています。
関東:文系男子(内定有)	この要請によって、新卒でなければ門前払いされるということがなくなれば、それで十分だと思いました。なぜなら、私は1年留年しても就職先が決まりました。また、何年か留年したけれど大手に就職したという人にも実際に会いました。つまりスタートラインに立てればあとは本人次第ということだと思います。ただし、とても優秀な人材がほしい大企業などでは、有名無実化するのではないかと思います。
中国・四国:理系女子(未内定)	新卒扱いの期間が延びることで、面接や筆記試験などで自分が苦手な部分、不十分な部分を改善し、試行錯誤できる時間が増えることで、自分に合った企業から内定を獲得する機会が得られるかもしれないが、3年延びたと甘んじて就活を真剣に始める時期が遅くなってしまわないかという懸念もある。
関西:文系男子(未内定)	日本の社会がもっと再チャレンジ、敗者復活というような考え方をもっともって社会全体で人材を育てるということに視点をもって進んでほしいと思います。新卒が一番のような一回きりの機会は大学での学業の軽視や、大学の就職予備校化を招き、大学そのものも薄っぺらでつまらないものにしてしまうと危惧しています。
関西:文系女子(未内定)	大学生の時は、大学の勉強と就職活動を両立させなければならぬため、大学で課題が出された時は、就職活動ができないこともあります。また、仕事の経験がないため、自分の道を見つけることに時間がかかります。卒業までに就職できなかったらと思うと、不安になります。だから、卒業してから時間をかけて自分の道を探し、就職活動ができれば良いと思います。
関西:文系男子(未内定)	卒業後の就職活動は一層厳しくなるという情報を見聞きしているので、新卒扱いという配慮がなされていることは既卒の方には少なからずプラスになると思う。
関東:文系男子(内定有)	新卒扱いでの就職するチャンスが増えたことは良いと思いました。この要請がうまくいけば、そのチャンスを生かして行動できるかが鍵になると思います。
中国・四国:文系女子(内定有)	正規雇用としての職探しが難しくなっているので、とても近年に見合った対策だと思う。また、職業選択が昔に比べ、増えているので、3年間第二新卒という政策を利用して、自分のやりたいことを見つけていきたいと思う。
東海:理系男子(内定有)	新卒切りの方をどうにかしてほしいと思う。入社して辞めさせられた場合、新卒でもなく中途扱いになり、不利だと思う。
関西:理系女子(未内定)	要請の内容には非常に救いを感じました。しかし、企業側で実際に適用されるかどうかには信憑性を感じられません。また、卒業後の期間にどのように成長したかが、純新卒者との選考基準として重要になると考えられるので、研究生受け入れの枠組みを増やすなど、政府や学校側による具体的なサポート体制が進められることを要望します。
関東:文系男子(内定有)	留学をしていて4年時の夏に日本に戻ってきた方にとっては、就職のために卒業を延ばす必要がなくなるので良いことだと思います。ただ、卒業後に新卒扱いで入社試験を受けることができても、企業は大学4年生を採用したいと思うのであまり意味がないと思います。逆に企業が差別化をしないのであれば、大学4年生は今までより数倍合格が難しくなるので、不公平感を持つのではないかと考えます。
関東:文系女子(未内定)	要請は大いにありがたいが、そもそも「新卒」という枠組みが疑問。アルバイトであっても責任のある仕事をしている人たちも多くなる。制度云々ではなく非正社員→正社員の転職が難しい社会の風潮を改善すべきだと思う。
関東:文系男子(未内定)	私のような内定未定者には朗報ですが、気になるのは経団連や企業側の反応です。公式な回答はまだなので不安は拭きません。それに、例えこの政策が実現したとしても一度選考から落ちた企業を再度目指した場合、一年目の新卒者と同じ基準で選考してもらえるかどうか疑問です。今の時代、不況が長引き正規雇用枠が狭くなっているのは仕方がないので、非正規、派遣労働者、事業請負であっても働きたいです。
関西:文系男子(未内定)	志望先への採用のチャンスが広がるというメリットはあるかもしれない。就職氷河期といわれる現在の時勢を鑑みれば内定をもらえず、卒業を控えた者や既卒で就活に励む者にとっては朗報といえるだろう。しかしながら、決して楽観はできない。既卒を新卒として扱ったら、人気のある企業への競争率は今より一層激化するだろう。詰まるところ、就職するために現在必要となるのは、制度ではなく、本人の力量が重要だと考える。
関西:文系女子(未内定)	この時期に未だ内定をもらっていない私は、卒業後3年間は新卒の扱いとするという措置に助けられることになりそうなので複雑ではあるが、この措置によって、来年、再来年と競争率がさらに高くなりほしくないかという不安もある。また、本当に新卒者と平等の機会が与えられるのかも心配だ。
関東:文系男子(未内定)	あまり大きな効果はないと思う。それが率直な意見で、新卒で内定を得られなかった場合には、専門学校などで、ビジネススキルをつけるために必要な学費の一部補助を検討してほしいし、大学側にも、企業が必要とするニーズをくみ取って、これからの大学生すべてが即戦力になる環境づくりをしてほしい。
関東:理系男子(未内定)	正直卒業後もしばらく新卒扱いしてもらえる事はありがたいが、実際建前だけの政策となり形骸化しないか不安。また、根本的に現在の「新卒一括採用」・「春・秋採用」といった採用システム自体に無理が出てきている気がする。「通年採用」や「トライアル採用」、および就職活動以前の若者の人間形成・能力拡張などに対する取り組みを企業・政府ともども取り組んでもらいたいと思う。

東海:文系男子(内定有)	例年の就職浪人が7~8万人と考えると、新卒扱いされる人数が10万人近く増えると考えられ、単純に期間を延ばされても、働き口が比例して増えなければ意味がない。むしろ需要と供給のバランスを今以上に崩すことになり逆効果だ。
関西:文系男子(未内定)	例え卒業後3年は新卒扱いするとしても何もスキルや経験を持っていない状況では内定を得ることは難しいと思います。それに企業は現役の学生を採用したいという思いが強くて卒業後に就職できなかった人はその理由を必ず聞かれると思うのでそれに答えることができない、あるいは答えに窮することがあればやはり内定を得ることは難しいと思います。
九州:文系女子(未内定)	要請はするだろうけれど、実行されるとは限らない。卒業後3年間は新卒扱いとは、例えば入社1年で退職、また再就活をして新卒扱いになるのか？ 入社半年で「退職」という言葉が頭に浮かぶ新入社員が半数いると言われていた現代。もし、再就活でも新卒扱いになるならば、3年以内に退職する人は今以上に増加すると思う。
関西:理系男子(内定有)	新卒扱いする期間は、卒業後1年間で十分。卒業後3年間も就職活動が続ける気力のある人はいない。3年間も猶予期間を与えられて、一体何をすればよいのか分からない。留学やボランティア、起業でもして自己PRを作ればよいのだろうか…。そのようなことは就活のためではなく、やりたい人がやりたくてすべきもの。しかも在学中に。
九州:理系男子(内定有)	活動を続けた人と本当に新卒の人をどちらも平等に扱うかは疑問がある。実際に活動していた人の方がそれまでの知識と経験があり、新しく新卒となる人には不利ではないかと感じられる。そういった意味で企業が公平な判断を行えるのか気になる。
関東:文系男子(未内定)	法で決めない限り、こんなのはあってないようなもの。仮に企業が要請に応じたとしても、採用側は同じ新卒なら年齢の若い方を採用するのではないだろうか。新卒一括採用のシステムが崩壊しつつある今、大学卒業後に各自が就職ナビサイト(卒業年度の制限付)で就活をしていけば卒論にも影響は及ばないのではないだろうか。
関西:文系男子(未内定)	そもそも新卒枠自体をなくすべきであると思う。実力、経験、年齢、性格、人間性、すべてを採用の評価基準とすれば、採用の幅は増えるし、新卒も既卒と競争しなければいけなくなるため現役大学生の学力低下の問題も改善すると思う。極端な話、在学中は採用活動参加禁止、学校卒業後はみな機会平等。
九州:文系女子(未内定)	その案が通ったとしても、実際に私たちが卒業して3年以内のうちに浸透するのか、また、すべての企業がその案のように新卒扱いしてくれるのか疑問に思います。さらに、企業の新卒採用枠が増えることはないと思うので、新卒人数が増えることでさらにライバルが増え、今以上に就職活動が大変なものになるのではないかと不安にも思います。卒業後に就職活動を行えるという点では、大学では学業に専念できるため期待しています。
東北:理系男子(内定有)	そうすると現役の卒業生の就職率が低くなるのではないかと。その結果として大学が就職予備校になってしまうことが心配である。一方で判断は企業によるのでそれほど意味をなさないのでとも思う。
北海道:文系男子(未内定)	そもそも新卒一括採用という制度に疑問を持っている。なぜ、新卒に限定して就職活動を行うのか。新卒と限定せずに、中途採用と一緒に採用試験を行ってほしい。その理由は一度企業に就職して、その企業を辞めてしまった時、行きたい企業が中途採用を募集していない場合が多い。さらに卒業後、自分の個性を伸ばすことができないのも理由の一つ。大学3年から就職活動を始めるということは短い大学の時間を無駄にしている。
関西:文系女子(未内定)	さすがにこの時期まで内定がもらえないとなると、正直内定をすでにもらっている人より自分は劣っているんだという気持ちになり、そんな自分が3年間新卒の猶予をもらえたとしても、結局企業は自分より若く、能力の高い自分の後輩たちを取るのだからと思います。しかし、チャレンジできる機会は多くなるはずなので、腐らず前向きに、長期戦覚悟で頑張っていきたいと思います。
東海:文系女子(未内定)	新卒採用であるならば、企業側はなるべく年齢の若い人から採りたいとやはり思うのでは…と思います。教育期間も時間を要しますし。よほど即戦力になるなら別ですが、そんな人材がいたらどの企業も喉から手が出るほど欲しがり、早々と内定が出るでしょう。
中国・四国:理系男子(内定有)	新卒採用制度そのものが明確なものでなく、過去の慣例に従って残っているだけのものなので新卒かそれ以外かで区別する意味が無いし、これによって企業の採用活動に変化を与える事が出来るとは思えない。現在の新卒採用を見ている、大手企業では内定が出るのは10月1日で面接開始は4月1日からだが実質は守られていないので、国の要請は基本的に意味が無いと思う。
関東:文系女子(内定有)	あまり良い効果は生まれないのではないかと考えています。卒業してから、3年間もずらずと新卒扱いにされることで、惰性的にフリーター、無職になりやすくなってしまおうような気がします。また、長い期間に及ぶ就職活動をしたところで、企業から良い評価を受けられるのか不明で、あまり効果はないと思います。
東海:文系女子(内定有)	3年以内を新卒扱いにしたとしても、企業はあくまで大学在学中の就活生に価値を感じると思う。定義を変えても、きっと本質はあまり変わらない。今この時を諦めず、自分自身にいかにか付加価値をつけアピールしていけるかどうかの個人の努力、結局それが重要だと思う。
関西:理系女子(未内定)	当面の間は、世間体を気にするような企業が表向きは応募できるようにしてくれるだけで実際に採用してくれる企業はごく僅かだろうなと感じました。なので、政府が何か対策を取らなければいけないからそうただで気休め程度にしかならないと思います。そう考えるので、実際は卒業までに内定を頂けないと苦しいことには変わりはないと思います。
関東:理系男子(内定有)	来年度も新卒として就職活動を継続しても、正規の2012年度卒と区別されることは目に見えている。また、入社して3年未満で退社した人の扱いが新卒なのか中途なのか明確でない。

属性	就職難であることについての感想がありましたらご記入ください。(一部抜粋)
中国・四国:文系男子(未内定)	私自身が責任転嫁しているように思うが、小中学生時代にゆとり教育を受けてきた学生が非常に競争率のはげしい就職活動にぶつかり、就職活動している学生の一部は困惑しているように思う。(現に、私自身もなんとかなるんじゃないかと思ってた)しかし、世界はある程度の競争社会であり、その中には勝敗が必ずあると思う。私自身、うまくいかどうかはわからないが改めて社会にぶつかっていきたいと思う。
九州:文系男子(未内定)	理系の就職が10%も下がっていることに驚きました。よく説明会の最後に「皆さんが実りある就職活動を行えるように応援しています」と言われます。このように言うのならば、採用してくださいといつも思います。なぜならその会社に入りたくて説明会に来ているのですから。企業側の決まり文句の様にしか聞こえません。この世の中職を選べる時代ではないと思います。内定をもらえるならばどこへでもという気持ちが先走ります。
関東:文系女子(未内定)	余裕のある企業が積極的に新卒採用をしない結果ではないだろうか、また、中小の企業の衰えもあるのではないかと。中小企業が採用活動をしやすい仕組みづくりも、あらゆる機関(大学や、Web上の就職活動支援サービスなど)が積極的にやっていかねばならないと思える。
関東:文系女子(内定有)	油断しきった諸先輩方が引き起こした状況で、我々の年代は何も悪くはない。しかし先輩方は自分の立場を守ることに躍りになっています。尻拭いをさせるならまだしも、何もさせようとしない人が多いです。内定をいただきましたので、当然全てとは言いません。探っていただけということは何かしら動きを期待していただいているのだと思います。しかしそれでも前者が多すぎます。それに乗って不況のせいにする学生も痛々しいですが…
関東:文系女子(内定有)	報道の仕方の問題があった。就活生の悲観した雰囲気は、就職活動をする上でマイナス要因だと思う。不景気のシンボルとして就職氷河期を捉えすぎた。数字は確かなものかもしれないが、内定を獲得した人も存在するのだから、過剰な報道だったと言えるのではないかと。無意味な焦燥と閉塞感だけが、社会的産物として残った。個人的にも厳しさは感じたが、それは就職活動そのものの苦難であり、今年だからこそという実感はない。
中国・四国:文系女子(内定有)	報道では「就活生はわがままだ。中小企業は新卒者を欲しがっている」と報じられることがある。「選ばなければ行くところはある」と。しかし自分がこれから何十年と働くかもしれない場を選ぶことは果たして悪いことだろうか。行きたくもないところへ就職し、数年で辞めてしまうことの方がよほど先方に対しても迷惑で無責任だろう。内定率が57.6%とあるが、このうち本当に満足しているのはどの位の人なのだろうかと感じる。
関西:文系女子(未内定)	不景気を肌で感じるため、給料面やネームバリューにばかり注目し、自分の身の丈にあった企業を選択していない。まずは、真に希望する企業ではないが『滑り止め企業』の内定を保持し就職活動を進めるべきである。また、本当に自分自身に力があると考えたら、小さい企業で働けない意味がわからない。小さい企業を自分自身で大きくするぐらいの気概を見せるべきである。
東北:理系男子(未内定)	不景気が原因なこともあると思うが、学生にも問題があると思う(大手しか見ていない・まじめに受けていないなど)
関東:理系女子(内定有)	不況の今、納得のいく会社に勤めたいという気持ちが強いのだと思う。私は運よく就職先が決まり、3・4年を対象とした就活支援の活動に参加しているが、相談に来る学生の話の聞いていると、やはりそれぞれの学生がこだわりを持っていて、悩みはなかなか希望する会社に出会えないということだ。また、逆に、自分がどんな仕事をしたいかということがわからず何から始めればよいかわからず行動していないという学生もいる。
関東:文系女子(内定有)	不況が関係していることもありますが、私たち就活生もまだまだ努力が足りず、企業側の採用基準に達していないのではないかと考えています。
九州:文系女子(未内定)	貧乏くじを引いたなと感じる。まだ中小企業が採用活動を行ってくれてはいるものの、学生の足もとを見て無茶苦茶な事をする企業も度々あると感じている。
関東:理系男子(未内定)	非常に恐ろしく感じた。私は10月までかかりはしたものの、当初から第1志望軍であった業界で内定を頂いている。しかし大学・学部・性別が共通する周囲の学生を観察すると、数字どおり約半数は就職が決まっていない。特に女子については、長引く就職活動の疲労で精神的につらい状況に陥っている人が多く見受けられる。有名大学の学生の間にも「あきらめムード」が漂っていると聞く。若者の将来に希望が見えない現状にショックだ。
関西:文系女子(内定有)	日本の大学がいかに落ちぶれているかという指標なのではないかと思う。また、就職難は就活が有効に働いてない、効率的でない事を示していると思う。就職はお見合いに例えられるが、何十人とお見合いをするのは一般的と就職先を紹介する人が就職先を探している人の人柄等を評価して、就職先に薦める方法がいいのではないかと。就職活動の支援が有効でないことが考えられる。
東海:文系女子(未内定)	日本の将来的な雇用状態悪化が懸念される。若手がいけないような社会では、経済力も国家自体の力も世界的にみて下がるだろう。また財政悪化にもつながるだろう。そのような負のサイクルから抜け出せなくなる恐れがあると思う。
関東:文系女子(未内定)	日本の経済構造が大きく変化しているため、この数字は来年以降も大きくは変化しないか、または更に減少すると思う。しかし学生にとっては、大学は遊ぶ場所ではなく、研究や将来への有意義な経験を積むということに認識するきっかけになるのではないかと。それによって、企業も学生の大学での学業を重視するようになり、大学側も変わっていくと考えている。さもなければ、今後就職できない学生が毎年重なっていくだけだろう。
関東:理系女子(内定有)	二極化が進んでいると実感。所謂ブラック企業情報などがネットに氾濫するようになり、及び腰になっている人も増えてしまったのではないかと。
関東:文系女子(未内定)	内定率ばかり見るのではなく、学生自身が学生生活について考え直すべきなのではないかと思う。また、企業側も充実した学生生活を求めるのであれば、大学3年から就職活動させるような、採用活動は自粛すべきではないだろうか。逆に、10月の時点で内定率50%以上は他国に比べれば、高い率だ。
関東:文系女子(未内定)	内定率が下がっているの、周りで二年後を期待して、大学院に行く人が増えた。
関東:文系女子(内定有)	内定率がよくないのは就活生のせいではない、とは言われているものの、実際企業は多くの学生を不合格にしているわけであり、もう内定を貰っている学生と比べられて「不合格にされるあなたが悪い」というレッテルを貼られているのは現実です。ハローワークにある臨床カウンセリングの予約がすぐに埋まってしまうのも、そのような周りの圧迫があるからだと思えます。
関西:文系女子(未内定)	内定率が57.6%の「新就職氷河期」であり、企業説明会でも「百年に一度の不況の世の中、就職活動大変ですね」と言われます。この数字は確かに事実だと思います。しかし、実際就活をしている私からすれば「就職難」というネタとして報道しているようにしか思えません。この内定率をただネタとして「今の学生は大変だね」と終わらせるのではなく、雇用が増えるよう、経済が回復するようにどうすべきなのかを考えるべきだと思います。
北海道:文系女子(未内定)	内定をもらっていないのは、田舎の県だけ、また私の大学だけだと思っていたので、みんなも同じ状況であることに少し安心した。ニュースを見ると、都会の方に住む大学生は何十社、何百社と受けて、内定を早くからもらっていると思っていたので、内定率が57.6%と聞いて、厳しいなと感じた。
関東:理系男子(内定有)	内定をもらえる人ともらえない人の二極化が顕著に現れていると思う。内定をもらっている人は、4月ごろに志望企業からしっかり頂いているし、中には一人で4社も内定を得ている人も自分の周りにはいる事も事実。『超就職氷河期』と騒ぎ立てるのもどうかと思う。本当に、企業側は採用人数を絞っているのでしょうか？ 大学生の新卒者が単純に増えただけなのではないのか？ …疑問である。

関西:理系男子(内定有)	内定がないのは自分だけではなく、他にもまだ沢山いると思うと少し安心する。 そのせいかあまり焦っておらず、危機感がやや薄いかもしれない。 内定がまだないのは単なる力量不足ではなく、就職難が原因だと言いかせて(言い訳して?)いる。 自分の場合は公務員が本命で失敗し、遅れ気味に民間の秋採用に参加したこともあるが、就職難で公務員の競争倍率も上がるなんて。
関東:文系男子(内定有)	なかなか就職が決まらない。アルバイトを続けながらの就職活動、正直辛い。交通費も嵩む。どんどん追いつまれていく状況。悲観的になりたくはないが、ふとした時に、そもそも企業は体裁だけの為に見掛けだけ採用活動を行っているんじゃないかと思えてくる。
関西:文系女子(未内定)	調査となった大学は全778校中、就職に強いとされている名のなる大学わずか62校という記事を見た。もう国内だけにとどまらず海外も視野にいれるべきなのだろうかと思った。
関東:文系女子(内定有)	大学名や学歴による足きりが多く、試験や面接さえ受けられない企業もあれば、派遣などは人を囲おうと必死であるにも関わらず、派遣という名前で誰もが一步引いている。本当に職がないわけではなく、希望の業界や職種、勤務地を選んでしまう甘えが就職難にいくらか関連していると思う。また、今の時世、大学や学歴ではなくスキルが求められるため、少し前には敬遠されがちだった専門学校への進学の道がこの先良いかもれない。
関東:文系女子(内定有)	ご時世にもかかわらず、就職活動をいい加減におこなっている学生も多くいるように感じる。企業側の責任ばかりクローズアップされるが、学生のほうにも多く問題点があると思う。 実際、内定をいくつももらっている学生もたくさんいる。就職が決まるかどうかは、結局本人の頑張りによるところが大きいと思う。
関東:文系男子(内定有)	大学の教室を見ても、リクルートスーツを着ているのが3年生か4年生かわからないという現状がある。今の大学生のにとっては、大学に行ったら就職があるという意識は全くなく、むしろ必死に就活をしても内定がもらえない現状があり、厳しい世の中だと数字を見るだけで感じさせられる。
東北:文系男子(内定有)	即戦力になる新卒の人材を求めている企業が多く、就職活動にはとても苦労しました。企業説明会などでも、すぐに満席になってしまうので、携帯電話のメールがくるたびに「早く予約をしないと」と思い、ビクビクしてました。また、エントリーシートや履歴書で不通過だった場合はとても辛かったです。面接までたどり着けたとしても、最初のうちは落選ばかりだったので落ち込んでいましたが、最終的に内定がでて良かったです。
関西:理系男子(未内定)	就職活動の大変さはその年度に経験した人しかわからないと思いますが、本当に大変でした。特にいわゆる「クリック戦争」はスマートフォン使用者が圧倒的有利であり、不満を感じました。
関東:理系男子(内定有)	るから全体を測るだけでは実態が見えてこないと思う。就活は個人差が大きいから。それからマスコミが人の不幸で飯食っているようで気に食わない、と大半の就活生が思っているはず。不況不況と偏屈な見方を排除して、より実態を深く考えた報道をしてほしい。
北海道:文系男子(内定有)	生まれた年代ごとに有利・不利になってしまうことは、とても不公平だと思う。生きていくためには働かなければならないのに、その職が無いというのはおかしいと思う。
東海:文系女子(未内定)	正社員就職者数は1990年324164人、2008年388227人となっており、バブル景気のころより増えている。 つまり大学生が増え続けているということだ。自営業率は低下する一方で、雇用も減るだろう。 留学生の減少も報じられているが、海外も選択肢に入れるくらいの積極性も持つくらいにならなくてはいけないのではないだろうか。
関東:文系女子(内定有)	採用を渋っている企業に無理矢理採用させるのは、企業にとって大きな負担となる。また、内定取り消しなどの問題も出てくる。 実際に、政府のプログラムで採用されたが半年後に解雇になった友人を見て、非常にかわいそうに思う。 企業と学生、お互いにとって不利益である。雇用対策よりも景気対策を優先すべき。
関東:文系女子(内定有)	政府の雇用創出政策が機能していない。アメリカのルーズベルト大統領がした「ニューディール政策」を現在の日本で再現すべき。ダムの建設とまではいかなくても、資格不問で介護福祉士大量募集とか。しかし就職先が見つからないくせに、「大卒だし…」と、こうした肉体労働を嫌悪する風潮はいかかかを感じる。
関西:文系女子(未内定)	世界的に見て不景気といわれるこのご時世なので仕方ないことと言えば仕方ないことですが、そんな世の中なのに一つの業界しか見ていないとか、地元地域からは出たくないなどと言っている学生が私の周りだけでもかなり多いように感じます。また、会社に入ってこうなりたいという考えを持つ学生が少なく、とりあえず就職できればよい、という考え方の学生も多いように思います。(毎年のことなのかも知れませんが)
中国・四国:理系女子(内定有)	人を偉そうに言える立場ではないが、どうやら私達にも理由があるようだ。ハローワーク経由の模擬グループ面接のイベントに参加した時、互いの姿を見て評価した。相手が話している最中、心の中で「私が人事や面接官ならこれはないな」とか「隣の人の話し方はイライラする」と思いを巡らせた。このイベントを通じ、企業・業界研究不足が未内定の1番の理由という結論に至った。過去最低の内定率とは意外だが行動あるのみだと思う。
関西:文系男子(内定有)	親からすれば高い学費を払って内定ないまま卒業なんてあり得ない。両親には本当に申し訳ない気持ちだし、絶対に内定欲しいとは思っている。ただ、将来の夢を持つほど未来に希望は持たず、今を一生懸命に生きているという気持ち。それに、中小企業は4月からではなく今求人募集しているように感じられ、今すぐ働ける環境の方がもっと内定を得やすい気がする。
関西:文系女子(内定有)	新卒一括採用のデメリット部分が今回のリーマンショック以降に出てきたが、欧米などの新卒採用そのものがない国と比べると格段に良い環境にいるのかもしれない。新卒一括採用はどこの世代が犠牲になることで成り立っているのなら仕方ないことなのかもしれない。
関東:文系男子(未内定)	就職率が高くても内定取り消しがあっては意味がない。採用数は減っているのかもしれないけれど、年末から年度末にかけて確実に採用してくれる企業が出てくると思うので就職率は上がると思う。
中国・四国:文系男子(内定有)	就職というより、就社になってしまっているかもしれない。 知名度のある会社に入るよりも、自分は何の職種でやりたいのか、営業なのか、経理なのか、研究職なのかなどを踏まえたうえで、その会社を志望していることが大切だと思った。 あと、中小企業についてもっと知りたいと思っても、情報が少ないのと、中小企業は募集が遅いので、みんな大企業に目を向けてしまうのだと思う。
関東:文系男子(内定有)	私自身は特に就活に関しては何もしていないが、ほぼ全て内定したので何も感じなかった。不景気からの流れなのか一流企業およびインフラへの人気率が高かったように思えた。就職難の原因としてゆとりが多いのが問題だと考えられる。大学を10分の1に、特に私立は100分の1のレベルまで削減すればこの就職難の問題は改善されると考えられる。なぜなら、一流企業ばかり無謀にも受けることがなくなると考えられるからである。
関東:理系男子(未内定)	私自身は4回生から交換留学をし、卒業を遅らせ、さらに留学中は就活を全くしていなかったため、実質5回生の夏採用から就活を始めました。同学年や4回生たちに比べ、チャンスが少なくなることも承知の上で自分のペースで就活をしていましたが、内定率低下のニュースを見る周囲が必要以上に心配してくれ、もちろんありがたいですが、反対にプレッシャーになったり辛くなることもありました。

関東:文系男子(内定有)	私自身の感想としては、数字ほどの困難さは感じませんでした。面接等でも、志望企業のことを良く知り、自分の経験から抽出できる強みやその志望企業で自分がどう活躍するかのプラン等を明確にすることで、乗り切れたと感じるからです。自分の主張について自問自答することで、その主張に穴がないか日々考え続けたことが、活きたと思います。
甲信越:文系男子(内定有)	私も秋まで苦労した人間ですが、長引いてしまったのは比較的人気の企業を選んでいたのでだと思います。最終的に希望業種で小さめの会社に内定をいただきました。内定を取ること自体は、会社の規模に関係なく幅広くエントリーすればそこまで難しくないように感じます。中小企業は人が足りなくて困っているという話も聞きます。ただしそういう会社に就職したいと思う学生が多くないというのが就職難の原因の一つだと感じます。
関東:文系男子(内定有)	私は何十社も落ち、何十社も訪問しました。しかし就職活動を始めたころと比べ、とても自分の成長を実感できています。なので、内定が取れたからと言えることですが、私にとってはある意味良かったと思えるようになりました。この就職難を勝ち抜いた方たちはきっとこれからも頑張っていけると思いますが、まだ内定を取れてない方も自分の成長を実感できるようになればきっと内定をとれると思います。
関西:文系女子(内定有)	私は11月末まで就職先が決まっていなかったのでもしんどい、就職活動やりたくない、やめたい、でもやめられない、などかなり精神的に参っていました。しかし、確かに社会情勢の悪化ということはあるかもしれないが、10月の内定式時点で決まっている人もきちんといたことは確か。なので、わたしは社会情勢の悪化ももちろん就職難の流れを進めているとは思いますが、同時に自分自身に問題があるのでは、とも思っていました。
北海道:文系女子(内定有)	私の場合、2年前にも就職活動を行っていましたが、採用面、経済的な面(交通費等)の両方で厳しくなっています。周りが「就職難だから無難に」と叫ぶため、マニュアルに沿った人間が多い気がします、確かに企業側も癖のある人物を避けている。また「まだ募集するばいくらでも次が来る」と考えているのか、自分が受けて落ちた企業から再度募集の案内が入ることがありますが、再選考が可能でないなら送らないでほしいです。
中国・四国:文系女子(内定有)	私の周りの人の話ですが、多くの企業から内定をもらっている人、職種、勤務地、業種にこだわりすぎていて内定をもらえない人、意識が低く面接の日に寝坊ばかりしてしまう人など様々な人がいた。就職難ではあると思うが、そのように原因が分かっている人は気付いて対策をすればいいと思う。また、中小企業では、まだまだ学生を募集しているという話を聞く。不況だからいい会社にと大企業ばかり狙うのも、就職難の原因ではと思う。
関東:理系男子(内定有)	今後もグローバル化が進み、多国籍企業になっていくと思う。そのなかで、日本人である者を採用するメリットは減っていくように感じる。だから、就職難は今だけでなく、これからも続くように感じる。
関東:文系女子(未内定)	今までよりも悪くなっていることよりも、学生の考え方がまた変わってきているのではないのでしょうか？自分の理想を求めすぎており、違う方向に目を向ければ求人している企業はたくさんあります。また、企業も同じような人を集めてしまう傾向は少なからずあると思います。それに、今の学生は敬語さえ使えない子が多くなります。先生に対して敬語を使えない人が面接で、面接でぼろを出すのも原因の一つではないでしょうか？
関西:文系女子(未内定)	雇用の流動性に欠けているから企業が新しい人材を探りたがらない もしくは即戦力を求める風潮にさせていると感じる これからの日本は雇用制度の抜本的な改革を余儀なくされると思います。
甲信越:文系女子(内定有)	現実を知り、家族ともよく相談した結果、夢を追いかけるのを諦める選択に至りました。厳しかった就活で培った力を活かして新たな夢に向かって一歩踏み出します。こんなご時世でなければ、もう一年挑戦してみたら・・・と言ってあげたいのだけれど・・・両親の言葉を素直に受け止めています。
中国・四国:理系男子(内定有)	景気が左右されることは仕方ないことだと思うが、特に研究がしたいわけでもない人間が、そのために修士に進むと日本の学位のレベルがますます落ちると思う。
関東:理系女子(未内定)	企業と学生側のミスマッチがなかなか解消されていないと思う。民間の就活をやっている人には大手病にかかっている人もいと聞か、中小企業にもトライするべきだし、学校側もそこに目を向けるよう指導すべきだと思う。特に国公立大学の就職支援はまだまだ私立に比べ、足りないと思う。国公立は法人化されたことから、もっと就職支援を厚くするべきだと思う。
中国・四国:文系女子(内定有)	企業が悪いと思う。「即戦力」という標語がそもそも学生を舐めているように感じる。育てる気がないなら新卒採用をすべきでない。企業は企業のことしか考えない、それでいいの。「学生が頑張る就活」であるうちは就職率など絶対に回復しないし、企業も良い人材を捨て続けるだろう。「仕事ができる」のが本当にいい人材だろうか。人として大切なことを見落とした企業ばかりで構成された社会が、いい方向へ向かうはずがない。
中国・四国:理系女子(未内定)	一浪して大学に進学したのに、就職先が決まらないので、両親まで肩身の狭い思いをさせている。 誰の責任でもないが、ただ無職なままの自分自身が悔しくて、生きている事さえ恥ずかしく思う。 フリーターなど、何の労働保険や社会的地位もないまま、ただただ社会から搾取される人生を送るぐらいならいっそ死んでしまいたい程だ。
関東:文系男子(未内定)	バブル崩壊後の就職難よりも現在は、就職支援がおこなわれており環境は恵まれていると思う。だが、個人的な意見としてバブルの時に遊び歩き、大学生の質を落とした拳句、苦労なく入社した世代に能力を判断されるのは糞に障る。
関東:文系男子(内定有)	ドクターコースの学生を活かす場がほしい
関東:文系女子(内定有)	それだけ学生の実力が落ちたということ。ただ、それを社会のせいにしても何も始まらない。これから先も、いかに自分を奮い立たせることができるかが、我々の世代の真価を問うことになると思う。
関東:文系男子(未内定)	そもそも日本の雇用の構造的問題がここにきて浮上したと感じている。企業の新卒至上主義と雇用の海外シフト・比較、大学のカリキュラムの非実用性と硬直化、そして大学生のレベルの相対的低下(あくまで海外学生と比較して)である。就活をして感じるのは、やたら企業の側の採用基準が偏っていることと高すぎる水準である。つまり、うまくいく人の特徴は「神様スペック」か「基礎的コミュニケーション能力が高い」である。
中国・四国:文系男子(内定有)	いよいよ採用の国際化が本格化したなと感じた。日本の学生には、「これを成し遂げてやる。」「あの国には絶対に負けられない。」といったハングリー精神が欠けている。就職できない学生を支援するのは大切だが、もっと日本の行く末に危機感を持たせなければ、たとえ就職できても、そこで何も成果を上げられないと思う。
関東:文系男子(未内定)	あまりにも厳しすぎる。私は、大学卒業したら、絶対に仙台で就職することを、高校3年生のときに考えていた。しかし、大学2年生のときに、就職が厳しくなると聞いたときに、「何で私の時ばかり就職状況を厳しくするの。信じられない。ズルだ。」と思い、困った。今も、何で私のときばかりという思いでいっぱいである。
甲信越:文系女子(内定有)	この様な深刻な事態になってもやるべき事をやらず、権力闘争に明け暮れている政府に怒りを感じている。 そして結局は、労働者が減る事によって 1:所得税の税収が減る 2:労働人口の減少によって技術の継承が上手くいかなくなる・・・等 自分達の首を絞めることにつながる為、日本という国の危機だ、とも感じている。

属性	就職活動を通じて一番感じている感想はなんですか。(一部抜粋)
中国・四国:文系男子(未内定) 九州:文系男子(未内定)	就職とは、運であるというのが一番感じていることである。相手が欲しいと思っているところに行かなくては何にもならない。就職活動は自分を成長させるルーツなどと綺麗事をいつている輩がいるが、それは自分が仕事に就いているからこそ言えることである。特権意識を強く持った、新聞社、メディアなどは自分たちが行っている採用活動をよく見直して欲しい。採用活動に、頭の悪さがよくあらわれている。
関東:文系女子(未内定)	就職氷河期に時代に就活をしなければならないということで運が悪いなど思った。
関東:文系女子(内定有)	就職活動というのは、早く取り組めばいいというものではなく、4年間の大学生活のなかで、自分が将来どう在りたいかを探していくものではないかと思えます。そして、その活動を見守り、サポートをしてくれる人が必要であり、また、相談しやすい雰囲気づくり(就職支援センターなどで)をしてほしいなど思いました。
関東:文系女子(内定有)	世間知が足りないため、就職活動における本音と建前を見分けるのが難しい。社会経験の長い信頼できる相談相手が絶対に必要。 大学のキャリアセンターには本当に感謝している。キャリアセンターに行かなければ就職できなかったかもしれない。就職活動はまわりの人にたくさん助けられることが多かった。そして何より就職活動は辛かった。もう一度したいとは決して思わない。人に感謝することも確かに多かったが、また人をあまり信じなくなったかもしれない(キャリアセンターの人など、あきらかに自分の味方の人はのぞく)。
中国・四国:文系女子(内定有)	約1年、就職活動をしてきましたが、厳しかったです。ですが、最後まで諦めることなく続けたことで内定をいただけたと思っていますし、それが大事だと感じました。大学のキャリアセンターはフル活用しないと損です!私は毎日顔を出し、スタッフに名前を覚えてもらうまでになりました。内定先を知ったのもスタッフから情報です。得なことがいっぱいなので、ぜひ、キャリアセンターの良さをもっと知ってほしいです。
関西:文系女子(未内定)	周りの友達が就職活動をやる気がなさすぎて引きました。 逆に、好きなショップの店長さんが就職先なかったら中途採用扱いになるけどウチにおいて、といってくれて感動しました。世の中にはいろいろな人がいるものですね。
東北:理系男子(未内定)	就職活動は単に自分だけで行っているのではない。就職が決まる人はいいが、決まらない人は非常に肩身が狭い。家族の仲が冷え切り、NEETになるのではないかと、大卒なのに就職もせずフリーターとして今後の日本の路頭を迷う事になるのではないかと。中には独立企業を立てようと奮起する人もいますが、まずは企業に就職し、社会の荒波で泳ぐ事を覚えなければ何も出来ない。 周囲関係は冷え切り、道のない道を歩く。救われない活動だ。
関東:理系女子(内定有)	就職先以外に1社から内定をいただいた。私はそこに決めようとしたが、親が「そんな企業じゃ…」といってきた。大手志向というのは子供だけでなく親にも強くあるんだと思った。今活動している4年生でも大手志向をまだ持っている人がいるが、それは子供の問題だけでなく、親の強い思いがあって中・小企業にできないのかもしれないと思う。今の現状を親に理解してもらえないと私たちは必要以上に苦勞するのかもしれない。
関東:文系女子(内定有)	就職難就職難と嫌というほど聞いてきました。同学年の人の中には就職難だからどうせ内定が出ないだろうとはじめから諦めて真面目にやっていない人もいます。また、親は就職難とわかっていても、しっかりこないのか「まだ内定が出ないのか」「そんな企業じゃなくもっといいところにしろ」など圧力をかけてきます。そんななか就職活動をするのはとても苦痛でした。こんな状態を早く終わらせ、同じ境遇の人が少しでも減ればと思います。
九州:文系女子(未内定) 関東:理系男子(未内定)	将来について自分自身について企業について考えれば考えるほど、就職活動が上手いなくなってきた。何度もチャンスはあったけどやっぱり掴めなかった。自己責任なのはわかっているが、今まで頑張ってきたけど大学にも行かせてもらって、社会人になれない自分が情けなく親に申し訳なく感じている。
関西:文系女子(内定有)	親との時代が違うのにあれこれ言われるのはイラつく 親にも急かされて、やりたいことなど深く考えないまま、なんとなく就職活動をだらだら続けてしまったが、そもそも一般企業への就職活動を行ったこと自体が間違っていたような気がする。せめて4月からは切り替えて、教員採用試験の勉強に打ち込めば良かったと後悔している。現在は、内定を貰った企業(塾)がやはり違うと気づいたものの、内定を辞退するか、でも来年合格できるかわからないのにそうしていいのか、本当に悩んでい
東海:文系女子(未内定)	就職課や〇〇ナビのメールなどを見る度に、プレッシャーで吐いていた。 将来のことよりも、目先の勉強をもっとやりたかった。 時間的な余裕は出来ても、メールを見る度に「そんなんでいいのか」と追いつめられている気分だった。
関東:文系女子(未内定)	就職活動では、「自分に合った企業を探す」「不採用なら、それは企業との相性が悪かったということ」のような話をよく耳にするが、本当にそうなのだろうかと思う。私を採用してくれる企業(仕事場)なんてあるのだろうかと思う。気持ちを切り替えて就活を始めてもまたダメで落ち込むというサイクルを繰り返すうちに、何度やってもダメなのではないかと思うようになってしまい、なかなか就活をする気にならない。
関東:理系女子(内定有)	正直いうとつらいです。学校の中では、決まっている人もいて、浮いているような感じが嫌です。就活の話題が振られるとすごく気まずい感じになります。活動を続けていることは全く悪いことではないのに、なぜか悪い気持ちになります。
関東:文系女子(未内定)	精神的にタフになるというのがどういう事かを知りました。ショックな事や辛い事を笑って乗り越えられる強さなのだと思います。ストレスで吐いた時はびっくりしました…w 長くて辛いですが、必ず終わると信じて頑張りたいと思います。
関東:文系女子(未内定)	精神的辛さです。インターン含めて就活を始めてから1年4ヶ月たちます。今では3年生が動き出しており、3年生で溢れるキャリアセンターにも行きづらくなってしまいました。面接に落ち続け、社会に自分が不必要じゃないかと、死にたいと何度も思いました。就活鬱を何度も超え、今は安定していますがまたいつか鬱期がくるんじゃないかと思うとすごく苦しいです。将来のことを考えると不安になります。
関東:文系女子(内定有)	度胸が付いたと思います。電車に乗って一人で知らない人たちに会いに行き、面接を受けたりすることは、就職活動をする前の私では、考えられないことでした。また、何カ月もかけて、不合格の通知をこんなにも受け取るという経験も今までになかったことです。涙が出て、逃げ出したくなることもありましたが、就職活動を通して、精神的にとってもタフになったと感じています。

関西:文系女子(未内定)	就職活動は、色々な辛さと、それに見合った収穫があります。大変なことは、学生生活との両立、情報の取捨選択、頼れる人を見つけること、希望を持って活動を続けること、などです。一朝一夕ではできません。しかし、こういう課題にきちんと向き合ってみると、自分に足りないものや、社会人になる上で大切なものに気がきます。また、周りの大人に感謝する日もあります。大変だけれど、頑張りたいです。
北海道:文系女子(未内定)	就職活動を通じて大人になれた気がする。アルバイトや卒論に追われる狭間で人生の分岐点ともいべき就職活動を行っていくことは体力的にも精神的にも辛いものはあったが、この経験は社会に出るための大切な一歩だったと感じた。
関東:理系男子(内定有)	人との付き合い方・付き合わせ方が大事であり、大学時代に頑張ったことや努力したことよりも、それを経てどんな人間に成長しているのか・・・という、今の人物像を面接ではみていると感じた。
関西:理系男子(内定有)	人に頼ることはあまり考えないほうがいいと思いました。 キャリアサポートであれなんであれ、実際に受けるのは自分自身です。まして企業の採用方針などは毎年変化するものだと思うので、そういった人たちに頼るのではなく、自分たちが就職活動を通して感じたことを信じて進めるのが一番いいと思います。
関東:文系男子(内定有)	多くの企業を実際に目で確かめ、知ることができたため非常に勉強になった。また様々な考えを持った人達とも出会うことができ、参考になり面白いと思った。就職活動をしたことで考え方が変わり、自分自身の成長へと繋がった。
関西:文系女子(未内定)	当たり前ですが、みんな一生懸命なんだと思いました。企業の方も、就活生も、サポートしてくれる人も。自分は努力が足りないんだということを一番感じました。また、就職活動は、難しいし正直面倒に感じることもあり、嫌なことだらけだと思っていましたが(今も少し思っていますが)、人生の中の大事な通過点なんだと思います。自分の将来を決める大事な機会だから真剣に考えなければいけないことだと思っています。
関東:文系女子(内定有)	当初は自分ならば絶対に就職を勝ち取る自信がありました。そう思えるだけのことを大学時代にやってきましたし、やる気も十分にあったからです。複数のインターンシップ経験があり、計画的な入社試験対策、自己分析も実行しました。その努力が報われずに悩んだ4年の春～夏の自分が今でもトラウマです。しかし諦めず前向きに挑戦し続けることで内定を頂けました。今では逆境に負けず頑張った良かったと心から思います。
関東:文系女子(内定有)	就活をしているとアルバイトをする時間がないが、企業に出向いたり説明会に行くまでの交通費がとてもかかり、貯金がなくなる。都内にいる人はまだいいが、地方から就活をしにくる学生は宿泊費や飛行機代、新幹線代など、お金が半端なくかかるだろう。就活にかかった交通費を大学に請求したらよいか、それとも国に請求したらよいか。就活生は誰もがお金に困ったことと思う。
関東:文系男子(内定有)	1つ目は地域間格差です。地方には志望する企業や業界がなく都市部へ出る学生は、都市部に通う学生に比べ企業に接する機会が少なく、費用もかかること。2つ目は、無断欠席やなりすましです。ネットによる会社説明会の予約では、サイトの予約画面には満席と表示されているのにも関わらず、出席してみると欠席者が目立っていたり、試験などのなりすまし受験は企業と学生のミスマッチが起き、不公平だと感じました。
東北:文系男子(内定有)	就職活動は、地方に住む学生ほどお金が掛かります。政府には、しっかりと学生への金銭的な支援をしてほしい。具体的には、交通費の支給や東京や大阪などの大都市に、就職活動中の学生向けに宿泊施設の無料もしくは半額での提供などをしてほしいと思う。
関西:理系男子(未内定)	就職活動が始まってから、短い期間で膨大な情報を選別し意思を決定しなければならないので、就職活動が始まってから自分の将来について考えても遅いと感じた。しかし、就職活動が始まるまで社会や会社についてのことなど余り考える機会はなく、自分で行動しても偏りが出てきてしまうので、大学の一般教養などに社会のことをする授業などあればよかったと思った。
関東:理系男子(内定有)	就職活動は大学入学と同時に始まっていると感じた。早いうちから様々な経験をしかつ良い成績を修めることが重要だと感じた。私はそうではなかったため苦労したが、早いうちから大中小全ての企業にエントリーし、キャリアセンターや教授推薦など使えるものは何でも使うことで4月に内々定を得ることができた。特に早いうちから中小企業にも目を向けることが重要だと感じた。
北海道:文系男子(内定有)	二年の頃から、自分が「何がしたいのか・どんな職種が適しているのか・どんな仕事ができるか・自分はどんな性格か」などを、考えておくべきだったと思った。 特に、心理的特徴として、計画性が無い人や、衝動的な人、複数の事を同時にできない人は、アルバイトなどを通じて「計画を立てる練習」しておく必要があるのではないかと考えられる。そうしなければ、就活だけでいっぱいいっぱいになってしまうと思う。
東海:文系女子(未内定)	就職活動で見られるのは、本人の今までの行動よりも、今の本人の印象がどうかを見られていると感じます。スタート地点が低い人は、スタート地点が高い人よりも不利です。大学できっちり勉強している人が、卒業も危ういような人に就職で負けるのはそのためです。就職活動は茶番だと言っている人がいますが、本当にそう思います。企業も学生も就職活動という場で演技をしているみたいです。本末転倒・形骸化だと感じます。
関東:文系女子(内定有)	就職活動はどれだけ上手く嘘をつけるかだと思った。正直な人は損をすると思う。結局作り話でも、それをどれだけ本当のこのように話せるかが大事だと思った。就職活動は、よくわからないことだらけ。
関東:文系女子(内定有)	面接で自分を上手く売り込める人間が必要とされる。好感持てる人間を演じる能力とか、色々。元々器用な人間はさくさくと乗り越えられるけど、それ以外には厳しい世界。始まってから意識するのではなく、大学入学当初から意識して、色々な行動を起こさないといけない。
関西:文系女子(未内定)	要領が良い者が勝つ。テストセンターの試験を頭の良い友達に一回何円でさせる人がいる。 面接で落とされ、自分は駄目なのだと思うが、フィードバックが無いので何が駄目かは分からない。 模擬面接でもそのまま良いと言われるが落とされ続ける。
中国・四国:理系女子(内定有)	就職活動のせいで、卒論に影響が出るのがとても困る。春に決まった人は関係ないかもしれないが、やはり理系である以上実験しないと卒論はかけない。それなのに就職活動のせいで、実験がなかなか出来ない。もっと、学生生活を妨げない就職活動環境が良かった。
関西:文系男子(内定有)	就職活動の開始時期が早すぎる。3年(専門科目が履修できる一番学業的に楽しい時期)の後期は授業をサボってまで会社説明会に行かなければならず、学業に全力が入らなかった。就職活動は明らかに学生の学びを邪魔していると思う。 この就職超氷河期に就職活動したことは、人生の何らかの糧になると思う。

関西:文系女子(内定有)	就職活動の長期化はかなりしんどかった。就職先が決まったことが奇跡のようだ。就職活動は夏ごろまでは様々な企業に出会えることが楽しいと思えたが、夏を過ぎて決められないと徐々にそのような楽しいと思える気持ちはなくなり、苦しさしか持てなかった。長期化すればするだけ苦しくなる。それでも頑張ろうとして取り組んでもうまくいかないと余計に苦しくなるだけだった。そんな中でも就職先を決められた自分をほめてあげたい。
関東:文系男子(未内定)	少数のフルタイム労働者だけでは、雇用リスクが大きすぎる。 むしろ、多数のパートタイム労働者を雇うことでリスクを分散させるべき。 雇用の流動化を期待する。
中国・四国:文系男子(内定有)	早期化していることが問題視されているが、別の視点から見ればそれだけ就職活動を正当化する時間があるということである。卒論構想は空いた時間に行うとして、必要なのは様々な地域に出て行って様々な事を体験することであると思う。説明会や面接だけが目的ではなく、そこに着くまでの過程、着いてからの過ごし方に目を向けるべき。「就職するため」でなく「知見を広める」ための時間を与えられているという意識改革が必要。
関東:文系男子(内定有)	大学での勉強に就職活動により支障が生じる現状は是正すべきだ。大学での勉強や活動に支障が出ない時期や時間帯でのみ企業は採用活動をするべきだ。たとえば、ウェブを使った会社説明会の普及なども対策の一つだろう。また、企業側もパンフレットや企業紹介ビデオなどにお金を掛けすぎている。そのお金を面接の日程を増やしたり交通費支給にまわすなど学生の負担を減らす用途に使うべきだ。
関東:理系男子(未内定)	大学の教員陣がもっと社会で働くことやプロ意識等を学ぶ場を提供するべきです。というよりむしろ、教授が社会のことを知らなすぎます(ちょっとしたことで学生とコミュニケーションが取れなくなる無能さ、指導に対してお金をもっているのに研究者としても、研究室の長としてのプロ意識は全くかんじられないなど)
関東:文系男子(内定有)	大学は本当に就職予備校であるとひしひし感じた。これだったらもう旧帝やそれに準じるレベルの国立大学・早慶などの上位大学以外は全て職能大学校にして1年生から志望職種毎の教育を施せば、まだ内定率は上がると思った。そもそもの話、学費と私学助成金で稼ごうとしているだけの低俗な大学が多すぎると思う。
甲信越:文系男子(内定有)	当たり前の事ができない学生が増えて、同じ仲間だけでつるむから、気付かないし、人間としても成長がない。こんな状態なら大学に行っている意味がない。 視野や人脈を広げ、深い考えを身に付けられる環境が大学でないのか。 1人1人海外に行かせるプログラム等を組ませれば、自主性や考え方など、社会人になるレベルまで引き上げられるだろう。 就職内定率57%。学生の人間性の欠如が表している数値である気がしてならない。
関東:文系男子(内定有)	内定率が過去15年間で最低だった原因は、不況の影響もありますが、最大の原因は企業と学生のミスマッチが起きていることだと思います。とにかく学生が世の中に数多く存在する職業や、中小企業について知らなすぎることが原因だと思います。学生の就職活動が大手に偏るのは大手企業をCMなどで見て知っているという親近感や、仕事内容を大方予想できる安心からです。その部分を改善しない限り学生の就活は不況に弱いま就活に関して「こうあるべき」が溢れすぎていると思う。学生だけでなく、企業側にもそれに踊らされている人がいて、明らかに社会の不利益となっている。
関西:文系女子(内定有)	また、ゆとり教育など教育行政のブレや歪みが、昨年からの低い就職内定率にそのまま現れているのではないだろうか。採用に至るには能力が足りないと言われる人の数や割合があまりにも多すぎる。
北海道:文系女子(内定有)	就職活動そのものに踊らされる 一度目となる学部生の就職活動は、自分の視野の狭さも加わり、踊らされたいと思う。皆が受けるから、大手だから、自分の核となる思いがないまま、ただただ就社活動を行っていた。自己責任ではあるが、大学三年では周りの傾向に同調し流されてしまうのである。 院を経て、自分と社会の結びつきを考え、これからの生き方を見つめなおし望んだ二度目の就職活動は、心底納得のいく結果を得た。
中国・四国:文系女子(内定有)	就活の本などばかり読んでマニュアル化された人よりも、常識的なことができる・姿勢がある人が面接ではうけがいいのかな、と思いました。 あと、私の身の回りには「〇〇志望！」といて、特定の業種しか受けずに後々苦労している人も見かけましたし、この1年半で視野を広げる勉強になったかなと思っています。 最後に。内定先がどんな雰囲気をもっているかは入社してからでないとは分からないので、挑戦してみようと思ってます。
関東:理系男子(内定有)	就職活動は自分の為のものなので、自分で動くことですね。学校や流れに乗って就活をする人はまず受かっていません。自分で情報を集め、備え、試験に出向きます。そこで落ちて、ただ落胆するだけではなく、記憶が薄れる前に何がダメだったか、どこを改善するべきかをまとめ、必要なら履歴書も書き直し、面接で言うことも『曖昧』に決めておくなどすれば、いつか自分に合った企業から内定を頂けると思います。努力と根気です。
関東:文系女子(未内定)	自分は大学卒業後に専門学校に行ったため、再度の就職活動になります。 以前は売り手市場と言われましたが、結局は有能な学生がやたら多数の内定を得ているだけで、普通以下はひどい有様でした。今も似たような雰囲気を感じます。 氷河期といいますが、気を落とさずがんばってほしいです。
関西:文系女子(未内定)	周りの友人で、本当に実力のある子が残っているケースが多々見受けられる。企業は自分たちが使いやすい人材を選んでいる気がする。全く企業は見えない。 就職難と言われていることで、企業も厳選採用をしているということです。良い人材はどこからも必要とされるので、1人で多くの内定を頂くというケースが増えたのではないかと思います。良い評価を受ける学生と、そうでない学生の差が大きくなっていると感じました。
中国・四国:理系男子(内定有)	若い鳥症候群の人が多い。また、青年期延長型の人間が多すぎる。 大学のレベルなど関係なく力があれば就職はできる。 また、力がある学生なら小さい企業でも十分に能力を発揮し、企業を大きくし、給与面もあげることが可能である。 同期学生を見ていると、ネットワークシステムの普及からか顔を合わせて話すのが苦手な人が多すぎる。
関東:理系女子(未内定)	情報を鵜呑みにしてはいけないということです。私は就職情報や周りが急いでいるから自分も、と訳もわからず始めました。しかし、実は自分の興味のある業界や企業はもう少しゆっくりした予定の選考で、肝心なときには色々なことに疲れて動けなくなりました。 もっと自分に必要なことを見極めて、自分のペースで活動すれば良かったと思っています。

中国・四国:文系女子(内定有)	体力的にも、金銭的にも、そしてなにより精神的にタフでないと就職活動を継続し続けることは難しいと感じた。また、自分で自分の可能性を決めないで、会社の説明会の日程さえあれば行ってみるべきだと思う。私も会社説明会で初めてその会社を知ったし、その業界を志望していたわけではなかったが、採用担当の人柄に好感をもち、幸いにもその会社から内定を頂いた。どこの会社が自分を評価してくれるかは分からないと実感した。
中国・四国:理系女子(未内定)	大学時代、アルバイトやサークル、ボランティア活動など様々なことに挑戦するべきだったと感じております。私は大学での講義⇨自宅だけの生活を送っていたため、履歴書を書く際に、ネタが足りず、大変困りました。また、企業様が求める資質としてコミュニケーション力が上位に挙げられますが、様々なことに挑戦することは、それだけ多くの人と関わるチャンスともなり、コミュニケーション力も養われることになると思います。
関東:文系男子(未内定)	未だに1社も受けていないという現実、中々前に踏み出せない。立ち止まっていたり、逃げているだけで何も変わっていない。分かってはいるんだけども…と。
関東:文系男子(内定有)	面接は明確で客観的な指標が無いので、今まで慣れ親しんできたいわゆる「試験」だと思つくと痛い目を見る。その会社に合っていると思わせる総合力が必要だと思いました。
関東:文系女子(内定有)	就職活動に、顔写真は必要なのか？学歴を書かなければいけないのか？履歴書に記載する内容は、採用に当たって本当に必要なのだろうか？内定を出した後に提出してもいいのではないのか…等々思うことは色々ある。ただ目先の改善ではなく、根本・概念から就職活動を変えなければ、この先景気が良くなること以外に就職状況が改善することはないと考えている。
関東:文系男子(未内定)	将来の夢やビジョンなど描くことの大切さを痛感した。自分は今まで何も考えてこなかったし、就職活動を通して何も見えてこなかった。その結果が今の苦戦を産んでいると思っている。ただ、面接官は自分の強みやビジョン、会社の戦略をきちんとわかっているのだろうか？就職活動を行ってきて、それらをあまり感じられない大人たちに今の自分のことを評価・否定されるのは心外である。
中国・四国:文系男子(内定有)	色々だと思った。 よく、こんな学生は困る。といった企業側の意見を聞くが、問題があるのは学生だけではない。 多額の交通費を使い、都市部の説明会に行ったとき、一次試験についてはこちらから電話で何日までに連絡すると言われた。2ヶ月経過したが、いまだに連絡はない。不採用なら連絡無しという一言さえ添えればスケジュールのやりくりがやりやすかった。社会人も大したことないと思ったのが本音だ。
関東:文系男子(未内定)	新卒は1度だけでそれで今後の人生が決まるからリスクが高過ぎる。企業側も人物重視と言うなら“新卒”既卒”という枠を無くせばいいと思う。
甲信越:文系女子(内定有)	全体的に厳しいし、不況のなか何度も何度も「お祈りメール」をもらいながらも粘り強く就活をしている学生は本当に頑張っていると思う。私は日本の就職活動、採用活動の仕組みには多くの不満があったが、就職先決定後に振り返ってみると、これから社会人になる身としての基本的なマナーなど、就活から学んだことも多いと思う。
関西:文系女子(内定有)	卒業後も新卒として活動できるかどうか以前に、なぜ不採用になったのかの講評を頂けるようにしてもらおう方が、企業にとっても学生にとってもより良い採用活動・就職活動が出来るのではないかとと思う。
東海:理系男子(内定有)	他の年のことは分からないが、今年は「企業が学生を選ぶ」年ということで、面接時に態度の悪い面接官がいくらかいた。また、少しでも優秀な(高学歴な)人材を多く集めるためか、実際には行っていない事業についてもホームページに掲載している企業があり、企業の汚い部分を色々と見てしまったのが残念だった。ただ、人生一度の新卒採用で多くの企業を見てきたことは社会勉強にはなったので良かったと思う。
関東:文系女子(内定有)	大学時代、まともに勉強してこなかった大人が多すぎる。 学生時代はもっと遊べとかバイトリティーを持てとか…この人たちが日本を駄目にしてきたんだと実感した。 あんな大人たちに絶対負けたくない。
関西:文系男子(内定有)	内定＝目的となっている学生があまりにも多い。キャリアセンターに関しても対応はいまいちとしか言いようがない。大学にまで、行かせてもらっているのにも関わらず、目的を持たずに学生生活を過ごす学生が多すぎる。日本全体が危機的状況にあることを自覚した方が良い。
関西:理系男子(内定有)	日本の企業は学生に多様性を求めておらず、むしろそれを邪魔だとさえ考えているように見える。企業が求めている条件に完全に当てはまる人のクローンが数千人いればそれでいいようにさえ見える。故にiPhoneのような製品が日本から出ず、アイデア競争で勝てないのだと思う。個性を尊重し、いいアイデアを搦り上げてそれに投資する風潮がなければ、そのうち日本企業は世界から見て必要のない存在になるのではないかと、思ってしまう。
関東:文系女子(内定有)	日本の就職活動は曖昧で、明確な基準がない。 だから、何がいいのかもわからないまま、企業も学生も互いに疲れてしまう。 もっと、双方がプラスになるような採用ができないのだろうか。 早くから就職活動を開始するよりも、社会人と接したり、自分の知見や経験を深めることが大事であると思った。
関東:文系男子(未内定)	自分は中小企業を中心にまわっているが、上っ面だけでは面接には受からないことを理解した。それに伴い、本当に自分がやりたいことが出来る企業を見つけなければ面接だって薄っぺらい発言になるし、今の企業とのマッチングってそういうことなのだと思う。もちろん大手の企業であれば多少のしたたかさのある、仕事が出来そうな人を取るの当然だが、最終的には自分と会社・仕事のマッチングを考えるべきだと思いました。